

まちなかふれあい拠点整備検討業務委託
検討資料

令和 8 年 1 月
石 狩 市

目 次

第1章 業務概要	1
1-1 目的	1
1-2 検討対象	1
第2章 上位計画・関連計画の整理	2
2-1 計画概要	2
2-2 まとめ	7
第3章 市内における「市民交流施設」の現状	8
3-1 「市民交流施設」とは.....	8
3-2 「市民交流施設」の立地状況	9
3-3 「市民交流施設」の利用状況	12
3-4 「市民交流施設」の整備要望・ニーズ	13
第4章 他市町村のまちなかにおける公共施設の配置・集約及び利用状況の整理	16
4-1 公共施設設置状況の道内自治体比較	16
4-2 公共施設の集約配置状況の類似自治体比較	19
4-3 事例における公共施設の配置・集約状況	24
第5章 まちなかに整備が求められる機能の検討	35
5-1 本庁舎周辺エリアの目指す姿	35

第1章 業務概要

1-1 目的

本業務は、石狩市の持続可能なまちづくりを進めていくにあたり、現在検討を進めている市営プールを本庁舎周辺の「まちなか」に建設する場合に必要なとされる複合的機能の検討を行うことを目的とする。

なお、検討にあたっては、先に実施している市営プール基本構想策定における市民アンケートの結果や、「基本方針」を深く理解し、世代を超えた「ふれあい」の拠点づくりに必要とされる機能を検討することが求められる。

1-2 検討対象

「石狩市立地適正化計画」において、石狩市本庁舎や総合福祉センターりんくるを含む一帯を都市機能誘導区域として設定しており、都市機能誘導区域を「本庁舎周辺エリア」として設定し、本検討の対象とする。



図 検討対象

第2章 上位計画・関連計画の整理

2-1 計画概要

(1) 第5期石狩市総合計画

市民の交流拠点及び公共施設に関する基本施策を抜粋して整理する。

計画期間：平成27年(2015年)～令和8年(2026年)

住み続けたいまち・住みたいまち

創造：文化、交流、創造するまち

絆：絆や人のつながりを大切にするまち

環境：幸せに暮らす環境があるまち

基本施策：暮らし 1 都市基盤

【基本施策の方向性(抜粋)】

～(中略)～ 土地利用については、市内各地域の特性を尊重しつつ、都市型・自然型など総合的な調整に努めながら住み良さや魅力を追求する市街地の形成を図ります。

基本施策：福祉 7 地域福祉

【基本施策の方向性(抜粋)】

地域社会における福祉的課題を解決し、誰もが健康でしあわせに暮らせる地域社会を実現するため、住民一人ひとりの努力(自助)、住民同士の相互扶助(共助)、公的な制度(公助)の連携や、住民相互の支え愛の機能(地域力)の向上に努めます。

地域福祉の推進の原動力で会う、ボランティア活動の活性化に資する取組を推進します。

基本施策：産業 13 商工業

【基本施策の方向性】

多様化する消費者ニーズに対応し、地域特性を生かした産業振興の取組や豊富な地域資源を活かした創業・起業を支援することにより、モノづくり産業の推進や地域ブランドの向上に努めます。

また、地元中小事業者の経営安定化や既存商店街の環境誠意に努め、まちの活力や賑わいづくりを進めます。

基本施策：教育 19 生涯学習

【基本施策の方向性】

子どもから高齢者までの幅広い市民が、生涯を通じて、いつでも、どこでも、自由に学びの機会を選択し、その成果を様々な場面で生かすことができる生涯学習社会の実現を目指すことにより、個人が心豊かで充実した人生を送り、一人ひとりの活動が地域社会全体に生かされる「地域で育ち・学び・生きる教育」を推進します。

基本施策：教育 21 芸術・文化

【基本施策の方向性】

質の高い個性的な文化の創造を図るため、多様な芸術文化に触れ、創作活動への支援を図るとともに、「心のふるさと」としての地域を再認識し、新たな地域文化の創造を目指した環境づくりを目指します。郷土への理解と愛着を深め、文化・伝統を継承するため、文化財を適切に保護・保存し、その活用を図るとともに、ふるさとを学ぶ機会や資料の充実を図ります。

基本施策：教育 22 スポーツ・レクリエーション

【基本施策の方向性】

市民が心身ともに健康でいきいきと過ごし、充実した生活を送るため、事故に適したスポーツ・レクリエーションを継続的に実践し、健康の増進に努めていくことができる生涯スポーツ社会の実現に向けて、スポーツ・レクリエーション機会の充実や環境整備に努めます。

基本施策：行財政 24 財政運営

【基本施策の方向性】

直面する少子高齢化や経済グローバル化などによる、行財政運営上の様々な課題に対して適切かつ機動的に対応できる財政運営を持続するため、市債残高の縮減や市債発行の抑制、基金規模の確保などによる財政基盤の強化、経常コストの低減・削減や積極的な財源確保などによる収支構造の改善を重視した財政健全化の取組を推進します。

また、かつて急速に整備を進めてきた公共施設等が一斉に更新期を迎えていることから、可能な限り将来の世代に負担を残さない、効率的・効果的な公共施設等の配置・規模など公共施設等マネジメントの徹底を図ります。

基本施策：行財政 26 協働・市民参加

【基本施策の方向性】

市民、事業者、行政がまちづくりのパートナーとしての意識を高め、互いの信頼関係を築きながら、市民が主体となったまちづくりの取組を推進します。

また、少子高齢化や人口減少社会において、存続が難しくなっている町内会組織をはじめ、市民レベルのまちづくり活動に対する支援・育成を推進します。

ライフスタイルや価値観の多様化に対応し、男女が共に社会のあらゆる分野の活動に参画し、その個性や能力を十分に発揮できる社会と、すべての市民の人権が尊重され、互いに共存できる豊かな社会の実現に向けた取組を推進します。地域の特性を活かした取組や多様なコミュニティ活動の活性化を促進し、市民が主体となった地域課題の解決やまちづくりへの支援に努めます。

(2)石狩市都市整備骨格方針

計画期間：令和2年(2020年)～令和22年(2040年)

目指す都市像：北海道を支える国際物流・エネルギー港湾都市 いしかり

4つの大方針：石狩湾新港の地域の更なる発展／住みよい魅力あるまちづくりの推進／1次産業の供給力の確保・向上／優れた観光資源の活用

①市域をそれぞれの特性に合わせ4つのゾーンに分け、地域づくりの方針を設定。

本庁舎周辺エリアが立地する場所は、【都市機能ゾーン】に位置。

【都市機能ゾーン】エネルギー関連施設の誘致など、将来を担う発展軸となる施策の推進と、市外に住む市内就業者も住みたくなる魅力あるまちづくりのためのさまざまな取り組みを進めます。

②都市計画マスタープランにおいて、都市機能ゾーンの10の共通方針のうち、拠点づくりに関する方針は次の4つ。

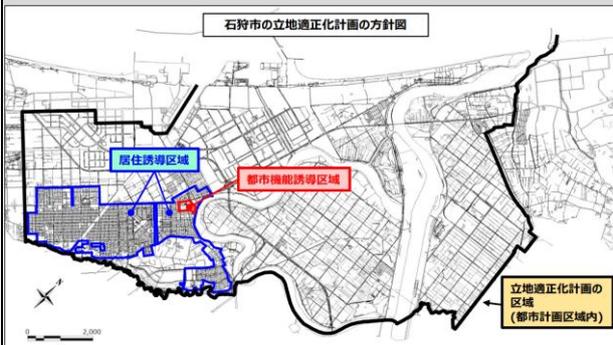
- 居住及び都市機能の推進を図るための土地利用の増進、整序
- 人の出会いや交流が生まれる、歩いて暮らせるまちづくりの検討
- 地域コミュニティ拠点の創出の取り組み
- 都市施設の計画的整備・更新

③都市計画マスタープランにおいて、本庁舎周辺エリアが位置する「花畔地区」において、次の方針が示されている。

- 居住誘導を図りながら、立地適正化計画に基づく都市機能誘導区域として、魅力ある市民サービスを提供できるよう、必要に応じて地区計画の見直しを検討
- 行政サービスの機能の維持、誘致など、公的施設の整備推進を図り、未利用地の活用を促進

④立地適正化計画において、「居住誘導区域」及び「都市機能誘導区域」、「誘導施設」を設定。

また、市役所本庁舎周辺については、居住誘導区域にあるとともに。行政機能をはじめとした都市機能が集積し、将来にわたっても多様な都市機能を有する区域と考えられる。



施設分類	誘導施設	現在の立地状況	配置方針※
行政施設	市役所	有	—
	国・北海道・市等の行政機能を有する施設 (市役所を除く)	有	○
文化施設	図書館(分館、分室を除く)	有	—
商業施設	店舗面積が3,000㎡を超える商業施設	—	○

※ 配置方針：「○」優先度の高い施設

⑤立地適正化計画の成果目標の一つに「都市機能誘導区域内誘導施設の増」が設定。

評価指標	現状 2015年	目標値 (中間年) 2030年	目標値 (目標年) 2040年
行政施設・商業施設	—	新たな立地施設 1施設	新たな立地施設 2施設

(3)石狩市公共施設等総合管理計画【改訂版】

計画期間：平成26年度(2014年度)～令和15年度(2033年度)まで

<基本方針>

① 中長期的な視点でのマネジメント(ア 公共施設を抜粋)

- ・保有する公共施設の全体面積を、人口減少や人口構造の変化を見据え、20%縮減します。
- ・新規の施設整備事業については単独施設の新規整備は行わず、施設の複合化・集約化、廃止・統廃合を基本とします。
- ・建設から一定期間を経過した施設は適宜点検・診断を実施し、建設から30年を超えるもので長期の活用が見込まれない場合は、廃止を基本とします。
- ・廃止した施設で、売却・貸付などが見込めない場合は、老朽化による破損等によって周辺環境・治安に悪影響を与えないよう、取り壊しを基本とします。
- ・今後の財政推計を踏まえたうえで、重大な損傷や致命的な損傷となる前に予防的修繕を実施することにより、健全な状態を維持しながら長寿命化を図ることでライフサイクルコストを縮減します。
- ・施設によっては既に策定されている各計画を基本としながら、当計画との整合性を図り、必要に応じて適宜見直していきます。
- ・施設の改修や更新の際には、誰もが安全で快適に施設を利用できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入を推進します。
- ・公共施設における再生可能エネルギーを活用した設備の導入や、省エネ性能に優れた機器の導入など、脱炭素化に向けた取り組みを推進します。

② 必要な公共サービスの再構築

③ 協働の推進

④ 地域ごとの公共施設等の在り方

(4)石狩市公共施設等総合管理計画 第2期個別施設計画

本庁舎周辺エリアに立地する公共施設に関する評価結果と今後の取組方針を整理。

計画期間：令和2年度(2020年度)～令和15年度(2033年度)

対象施設：本市が保有している「公共施設」を対象とするが、既に個別施設計画が策定されている施設においては、計画の対象外とする。

(1)本庁舎周辺エリアに立地する公共施設

①行政系施設

- ・本庁舎：市行政機能の中枢を担う施設であり、災害やその他危機管理などにおける災害対策本部機能も有することから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
- ・公用車車庫(庁舎)：公用車車庫として使用している。今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
- ・本庁舎防災倉庫：防災備蓄品等の保管庫として活用している。今後も適正な管理に努め、継続維持する。
- ・学校給食センター：学校給食調理施設として、市内小中学校に給食を提供する機能を担っていることから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。

No.	施設名	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持	R6 R7 R8 R9 R10~				
			経過年数	目標使用年数	構造	ハード							ソフト	評価	評価	機能保持	
1	本庁舎	石狩	H5	50	新	10,001	60.9	51.3	A(維持)	維持	市行政機能の中枢を担う施設であり、災害やその他危機管理などにおける災害対策本部機能も有することから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。	機能保持	機能保持				
			30	70	鉄骨鉄筋コンクリート	機能保持											
2	(庁舎) 公用車車庫	石狩	H5	31	新	704	55.7	—	C(見直し)	維持	公用車車庫として使用している。今後も適正な管理に努め、維持継続していく。	機能保持	機能保持				
			30	51	鉄骨造	機能保持											
3	本庁舎 防災倉庫	石狩	R4	25	新	51	67.6	—	C(見直し)	維持	防災備蓄品等の保管庫として活用している。今後も適正な管理に努め、継続維持していく。	機能保持	機能保持				
			1	45	軽量鉄骨造	機能保持											
20	学校給食センター	石狩	H28	41	新	3,418	65.9	—	C(見直し)	維持	学校給食調理施設として、市内小中学校に給食を提供する機能を担っていることから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。	機能保持	機能保持				
			7	61	鉄筋コンクリート造	機能保持											

②保健・福祉系施設

- ・総合保健福祉センター：福祉分野のワンストップ窓口として必要不可欠な施設であるため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。

No.	施設名	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持	R6 R7 R8 R9 R10~				
			経過年数	目標使用年数	構造	ハード							ソフト	評価	評価	機能保持	
85	総合保健福祉センター	石狩	H10	50	新	6,443	62.2	46.3	C(見直し)	維持	福祉分野のワンストップ窓口として必要不可欠な施設であるため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。	機能保持	機能保持				
			25	50	鉄筋コンクリート	機能保持											

③子育て支援施設

- ・こども未来館：児童のコミュニティ施設として地域の子どもたちが利用しており、周辺には類似機能を有する施設がないため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。

99	こども未来館	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持	R6	R7	R8	R9	R10~
			H22	50	新	991							64.8	48.4	C(見直し)	維持	児童のコミュニティ施設として地域の子どもたちが利用しており、周辺には類似機能を有する施設がないため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
			経過年数	目標使用年数	構造												
			13	50	鉄筋コンクリート								機能保持				

④社会教育系施設

- ・石狩市民図書館：公立図書館本館機能を有する市内唯一の施設であるため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。

144	石狩市民図書館	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持	R6	R7	R8	R9	R10~
			H11	50	新	3,826							62.4	58.1	A(維持)	維持	公立図書館本館機能を有する市内唯一の施設であるため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
			経過年数	目標使用年数	構造												
			24	70	鉄筋コンクリート造								機能保持				

(2)市民の交流拠点に関わる主な公共施設

①市民文化系施設

- ・花川北コミュニティセンター：地域住民のコミュニティの場として必要な施設であり、また地域防災において避難所として指定されていることから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
- ・花川南コミュニティセンター：地域住民のコミュニティの場として必要な施設であり、また地域防災において避難所として指定されていることから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
- ・学び交流センター(旧紅葉山小学校・公民館)：市民の文化活動の場として必要な施設であり、また地域防災において避難所として指定されていることから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。

47	花川北コミュニティセンター	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持	R6	R7	R8	R9	R10~
			S62	50	新	2,531							59.4	47.4	C(見直し)	維持	地域住民のコミュニティの場として必要な施設であり、また地域防災において避難所として指定されていることから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
			経過年数	目標使用年数	構造												
			36	70	鉄筋コンクリート								機能保持				
48	花川南コミュニティセンター	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持	R6	R7	R8	R9	R10~
			S63	50	新	2,864							59.6	48.5	C(見直し)	維持	地域住民のコミュニティの場として必要な施設であり、また地域防災において避難所として指定されていることから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
			経過年数	目標使用年数	構造												
			35	70	鉄筋コンクリート								機能保持				
72	山手小学校(旧交流センター)	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持	R6	R7	R8	R9	R10~
			S54	47	新	6,783							56.6	52.4	A(維持)	維持	市民の文化活動の場として必要な施設であり、また地域防災において避難所として指定されていることから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
			経過年数	目標使用年数	構造												
			44	67	鉄筋コンクリート造								機能保持				

②スポーツ・レクリエーション系施設

- ・石狩市民プール：民間事業者による開設から37年が経過し、老朽化が目立つことから今後の整備方針を検討する必要がある。市民の利用も多く、通年型の温水プールは当該施設のみであるため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
- ・石狩市B&G海洋センター：市民の利用者も多く、市内に代替施設がないことから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
- ・石狩市多目的スポーツ施設：市民の利用者も多く、市内に代替施設がないことから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。

132	石狩市民プール	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持・方向性検討	R6	R7	R8	R9	R10~
			H14	47	新	1,764							62.9	54.2	A(維持)	維持	民間事業者による開設から37年が経過し、老朽化が目立つことから今後の整備方針を検討する必要がある。市民の利用も多く、通年型の温水プールは当該施設のみであるため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
			経過年数	目標使用年数	構造												
			21	47	鉄筋コンクリート造								機能保持・方向性検討				
133	海洋センター	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持	R6	R7	R8	R9	R10~
			H4	47	新	1,828							60.1	52.3	A(維持)	維持	市民の利用者も多く、市内に代替施設がないことから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
			経過年数	目標使用年数	構造												
			31	67	鉄筋コンクリート								機能保持				
136	石狩市多目的施設	石狩	建築年度	耐用年数	耐震基準	延床面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント	機能保持	R6	R7	R8	R9	R10~
			H15	34	新	3,258							60.5	52.5	A(維持)	維持	市民の利用者も多く、市内に代替施設がないことから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。
			経過年数	目標使用年数	構造												
			20	34	鉄筋コンクリート								機能保持				

2-2 まとめ

石狩市の上位計画・関連計画に関して、本庁舎周辺エリアにおける位置づけ及び公共施設整備の方針をまとめると、次のように整理される。

- 「都市マスタープラン」において、本庁舎周辺エリアを含む「都市機能ゾーン」における、10の共通方針の中で、①居住及び都市機能の推進を図るための土地利用の増進、整序、②人の出会いや交流が生まれる、歩いて暮らせるまちづくりの検討、③地域コミュニティ拠点の創出の取り組み、④都市施設の計画的整備・更新が示されている。
- 本庁舎周辺エリアは、「石狩市立地適正化計画」の「都市機能誘導区域」に位置付けられ、行政施設(市役所等)、文化施設(図書館)、商業施設(店舗面積が3,000㎡超)が誘導施設として設定されている。また、居住誘導区域内にあるとともに、行政機能をはじめとした都市機能が集積し、将来にわたっても多様な都市機能を有する区域と考えられている。
- 「石狩市公共施設等総合管理計画【改訂版】」では、基本方針として、新規の施設整備事業については、単独施設の新規整備は行わず、施設の複合化・集約化、廃止・統合を基本とする旨が定められている。
- 「石狩市公共施設等総合管理計画(第2期個別施設計画)」では、本庁舎周辺エリアに立地する公共施設及び周辺に位置する市民交流の機能を有する公共施設については、耐用年数を迎えていないことから、「機能保持」の取組方針が示されているが、市民プールについては「機能保持・方向性検討」と位置付けられている。また、個別施設計画が策定されている施設については、本計画の対象外とされている。

なお、市民プールとB&G海洋センタープールについては、老朽化が著しくなっていることから、個別施設計画として、建て替えを含めた再整備の基本構想が策定され、現在、基本計画の策定に向けた検討が進められている。

第3章 市内における「市民交流施設」の現状

3-1 「市民交流施設」とは

本庁舎周辺エリアは、石狩市都市整備骨格方針において「都市機能ゾーン」に含まれるとともに、石狩市立地適正化計画の「都市機能誘導区域」に位置づけられているエリアであり、都市機能（都市機能施設）を誘導、または整備することで、人の出合いや交流が生まれる拠点づくりが求められている。

「都市機能施設」とは、「都市の居住環境の向上等のための機能を備えた施設であり、都市再生整備計画による高次施設（地域交流センター、観光交流センター、テレワーク拠点、賑わい・交流創出施設等）や立地適正化計画による誘導施設、市民のコミュニティ形成や交流、生涯学習、居場所、文化芸術、健康医療福祉、子育て、行政サービス等の拠点となる施設^{※1}」とされている。

そこで、本書では「都市機能施設」のうち、主に行政（市）が整備主体となるものを「市民交流施設」と定義し、本庁舎周辺エリアへの整備について検討することとする。

※1：「都市機能施設の効果的な整備・運営に向けた手引き（2023）」国土交通省都市局都市計画課より抜粋。

表 都市機能と「市民交流施設」の関係

主たる整備主体	都市機能	都市機能施設の例	本書での扱い
行政	行政機能	市役所・市民センター	市民交流施設
	保健福祉機能	保健センター 老人福祉施設 障がい者福祉施設	
	子育て支援機能	子育て支援センター 児童センター 児童遊戯施設	
	文化芸術機能	図書館 文化ホール 博物館	
	会議集会機能	公民館 コミュニティセンター 集会所	
	スポーツ健康機能	体育館・プール	
民間	商業機能	小売店 サービス店	商業ビジネス機能
	医療機能	病院	
	金融機能	銀行 郵便局	

3-2 「市民交流施設」の立地状況

(1) 市内の市民交流施設の概要

石狩市内(厚田区・浜益区を除く)の機能ごとの「市民交流施設」の立地状況をみると、行政機能では中心施設である「石狩市役所」がエリア内に立地している。保健福祉機能については、「総合保健福祉センターりんくる」がエリア内に立地し、同施設内に高齢者福祉と障がい者福祉機能も配置されている。また、子育て支援機能では、エリア内に児童センターと子育て支援センターの機能を有する「こども未来館あいぼーと」が立地している。

文化芸術機能では「石狩市民図書館」が立地しているが、文化ホールや博物館等はエリア内にも市内にも立地していない。会議集会機能では、公民館やコミュニティセンターはエリア内にはないが、りんくる内に貸し会議室等がある。スポーツ健康機能では現在エリア内に施設はないが、市営プールの建替え整備が検討されている。

表 市内の主な「市民交流施設」一覧(厚田区・浜益区を除く)

機能	施設区分	有無 (○有・●無)	名称 (末尾※印:本庁舎周辺エリア内のもの)		
行政機能	庁舎	○	石狩市役所 ※		
保健福祉機能	保健センター	○	総合保健福祉センターりんくる ※		
	高齢者福祉	○	花川北憩いの家(りんくる内) ※ 横町寿の家		
	障がい者	○	障がい者総合相談支援センター(りんくる内) ※		
子育て支援機能	児童センター	○	こども未来館あいぼーと ※ ふれあいの杜こども館		
			子育て支援センター	○	地域子育て支援センター えるむの森 こども発達支援センター(りんくる内) ※ 子育てひろば りとるきっず(あいぼーと内) ※ 地域子育て支援センター フレって 地域子育て支援センター くるみの木ひろば 地域子育て支援センター もくば 地域子育て支援センター こあらくらぶ
	図書館	○			石狩市民図書館 ※ 石狩市民図書館花川南分館 石狩市民図書館八幡分館
	文化ホール	●			—
	博物館等 ^注	●			—
	会議集会機能	公民館			○
		コミュニティセンター	○	花川北コミュニティセンター 花川南コミュニティセンター 八幡コミュニティセンター	
○				(りんくる)交流活動室・会議室・視聴覚室等 ※ (石狩市民プール)多目的ホール	
スポーツ健康機能	体育館	○	B & G 海洋センター サン・ビレッジいしかり		
			プール	○	石狩市民プール B & G プール

(注:「いしかり砂丘の風資料館」は博物館等に含まない)

(2)本庁舎周辺エリアと近傍の主な市民交流施設の概要

本庁舎周辺エリア内には、「本庁舎」や「総合保健福祉センターりんくる」のほか、「こども未来館あいぽーと」、「石狩市民図書館」等が立地している。これらのうち「本庁舎」、「総合保健福祉センター」、「石狩市民図書館」は、建築後 30 年前後経過しているが、「こども未来館あいぽーと」は建築後 15 年と比較的新しい施設である。

また、本庁舎周辺エリアの近傍に位置する「市民交流施設」としては、花川北と花川南の2つのコミュニティセンター、プールを含むスポーツ施設、公民館が立地している。これらの施設はいずれも建築後 30 年以上が経過している。特に「石狩市公民館(学び交流センター)」は建築後 50 年近くが経過している。なお、「石狩市民プール」と「石狩市 B&G 海洋センタープール」については、新たな市営プールの建設に向けて検討が進められている。

表 本庁舎周辺エリア内の「市民交流施設」と近傍の主な「市民交流施設」

立地	分類	施設名称	所在地	建築年度	経過年数※1	耐用年数	目標使用年数	耐震基準	延床面積(m ²)	構造	階数	上位計画※2の位置づけ(取組方針)
本庁舎周辺エリア内	行政施設	本庁舎	花川北6条1丁目30-2	1993	32	50	70	新	10,001	鉄骨鉄筋コンクリート造	地上5階	機能保持
	保健センター	総合保健福祉センターりんくる	花川北6条1丁目41-1	1998	27	50	50	新	6,443	鉄筋コンクリート造	地下1階 地上4階	機能保持
	児童センター	こども未来館あいぽーと	花川北7条1丁目22	2010	15	50	50	新	991	鉄筋コンクリート造	地上1階	機能保持
	図書館	石狩市民図書館	花川北7条1丁目26	1999	26	50	70	新	3,826	鉄筋コンクリート造	地上2階	機能保持
エリア近傍	コミュニティセンター	花川北コミュニティセンター	花川北3条2丁目198-1	1987	38	50	70	新	2,531	鉄筋コンクリート造	地上2階	機能保持
	コミュニティセンター	花川南コミュニティセンター	花川南6条5-27-2	1988	37	50	70	新	2864	鉄筋コンクリート造	地上2階	機能保持
	プール	石狩市民プール	花川北3条2丁目198-3	1987	38	47	47	新	1,764	鉄筋コンクリート造	地上2階	機能保持・方向性検討
	体育館 プール	石狩市B&G海洋センター	花畔337-4	1992	33	47	67	新	1,828	鉄筋コンクリート造	地上2階	機能保持
	スポーツ施設	石狩市多目的スポーツ施設サン・ビレッジいしかり	新港中央1-701-1	2003	22	34	34	新	3258	鉄筋コンクリート造	地上2階	機能保持
	公民館	石狩市公民館(学び交流センター)(旧紅葉山小学校)	花川北3条3丁目1-1	1979	46	47	67	新	6,783	鉄筋コンクリート造	地上3階	機能保持

※1基準年: 2025 年

※2:石狩市公共施設等総合管理計画 第2期個別施設計画

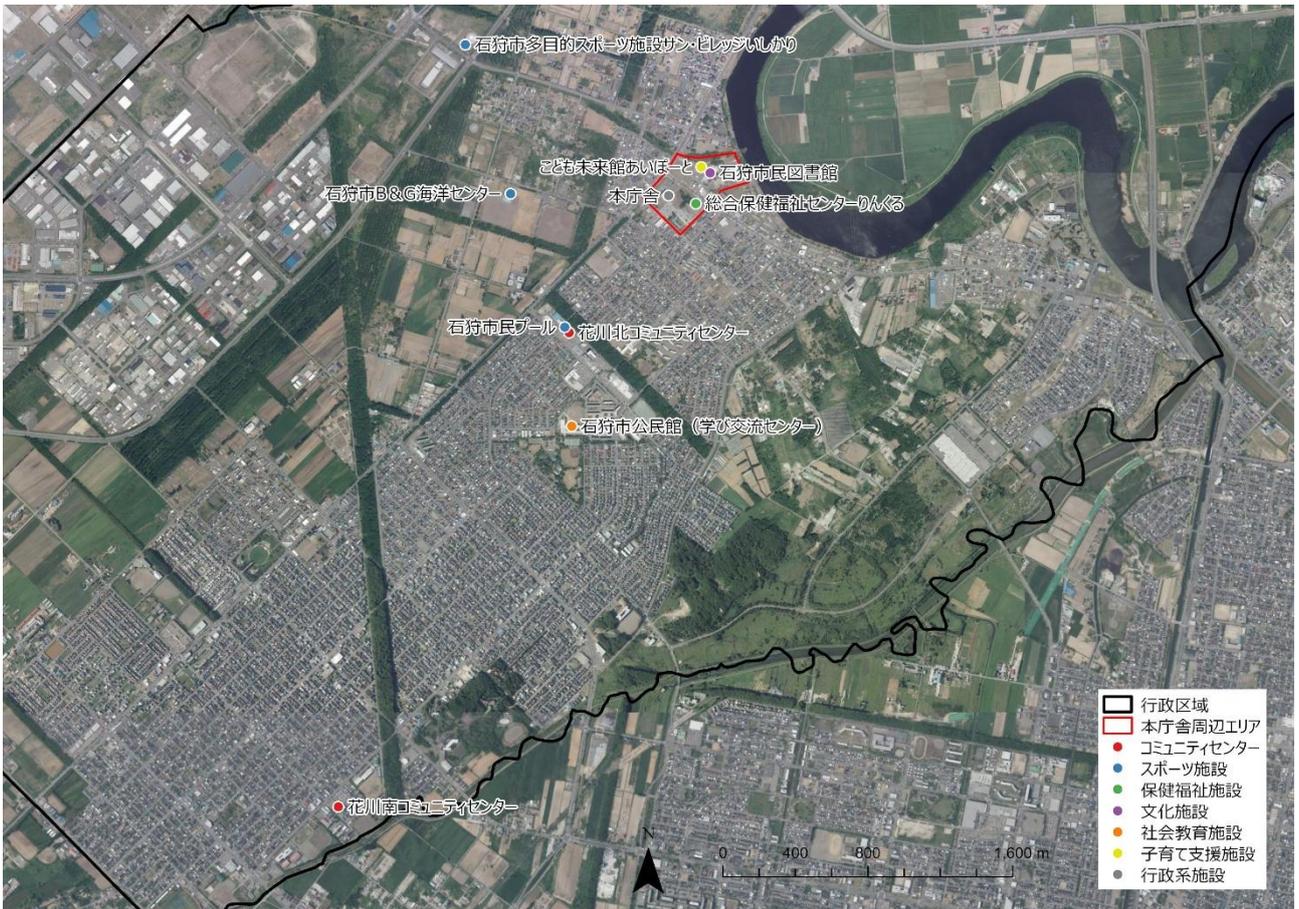


図 「市民交流施設」の配置状況



図 (参考)集会施設の配置状況

3-3 「市民交流施設」の利用状況

本庁舎周辺エリアとその近傍に所在する「市民交流施設」の各部屋の利用用途を下表のとおり整理した。子育て支援機能は、「こども未来館」「市民図書館」が中心であり、会議集会機能については多くの施設に分散配置されている。スポーツ健康機能については、体育館は体育施設内にあるが、ダンスや体操は多くの施設で実施されている。文化芸術機能は、図書・勉強は「市民図書館」が中心であるが、音楽・演劇については大人数の場合は花川北と南のコミュニティセンターを使用している。

表 「市民交流施設」の各部屋の利用用途

施設名称	部屋名称	面積 (㎡)	利用定員 (人)	子育て支援機能		文化芸術機能					会議集会機能				スポーツ健康機能			その他			
				子ども遊戯	学外教育	図書	勉強	音楽	演劇	美術	講演・式典	会議	パーティー	調理	休憩	体育館	ダンス・体操		トレーニング		
本庁舎周辺エリア内	総合保健福祉センター りんくる	交流活動室	280	—							●	●									
	健康増進室	168	—																	●	
	調理実習室	60	—											●							
	301号室	39	—									●									
	302号室	39	—									●									
	303号室	39	—									●									
	視聴覚室	94	—								●	●									
	地域福祉活動室A	39	—									●									
	福祉団体活動室	47	—									●									
	陶芸室	157	—							●											
ロビー	—	—																			
こども未来館 あいばーと	プレイスペース (遊戯室)	137	—	●																	
	キッチン	30	—		●									●							
	スタジオ (文化活動室)	102	—		●			●				●								●	
	ラウンジ	—	—					●													
石狩市民図書館	一般開架、児童開架	1,612	—		●	●	●														
	朗読サービス室、おはなし室	70	—		●																
	エントランスホール、喫茶	496	—				●													●	
	視聴覚ホール	69	—		●																
	研修室1	43	—																		
	研修室2	48	—																		
研修室3	27	—																			
エリア近傍	花川北 コミュニティセンター	ホール・ステージ	699	600							●	●					●	●			
	1F和室 A・B	68	30							●		●						●		習字・ヨガ	
	1F工芸室 (陶芸窯有)	64	13							●		●								美術・英会話	
	2F会議室 A・B	84	20~30									●								●	
	2F会議室 C	75	20~30									●								●	
	2F和室 A・B	72	20~30									●								●	
	2F視聴覚室	70	30									●	●							習字・ヨガ	
	2F調理室	97	30																	●	
	ロビー	—	—																		手話フェスタ・健診
	花川南 コミュニティセンター	1Fアリーナ	869	800								●	●					●	●		
1F会議室 A・B	88	60									●									●	
2F多目的ホール	197	150									●	●								●	
2F和室 1・2	62	45										●								●	
2F料理室	68	25																		●	
トレーニングルーム	75	10																		●	
浴室・談話室	165	—																			風呂
ロビー	207	—																			文化祭・健診
プレイルーム	18	—		●																	健診
市民図書館花川南分館	92	—																			
学び交流センター (公民館) (旧紅葉山小学校)	研修室1	76	20~30																		
	研修室2 (ピアノ有)	76	20~30																		
	研修室3 (ピアノ有)	76	20~30																		
	研修室4 (たたみ24畳)	76	20~30																		
	研修室5 (追加施設、カーペット床)	76	20~30																		
	視聴覚室	128	70									●									
	多目的ホール	163	50																		●
実習室 (追加施設、厨房機器有)	148	70																			
石狩市民プール	2F多目的ホール A	155	—																		●
	2F多目的ホール B	69	—																		●
	2F多目的ホール C	95	—																		●
石狩市B&G 海洋センター	アリーナ	853	—																		●
	トレーニングルーム	431	—																		●
	ミーティングルーム	61	—																		●
(参考掲載)	アリーナ (A・B・C面)	2,381	—																		●
サンビレッジ石狩	トレーニングルーム	79	—																		●
	ミーティングルーム	90	—																		●

3-4 「市民交流施設」の整備要望・ニーズ

(1)文化ホール建設に向けた要望・ニーズ

NPO 法人石狩市文化協会から音響設備・舞台装置を備えた文化ホールの建設が要望されているとともに、石狩商工会議所からは大規模な催事を開催可能な文化ホールの建設が要望されている。

表 NPO 法人石狩市文化協会からの要望

項目	要望の概要
要望施設	(仮称)石狩市芸術文化ホール 音響や舞台装置に配慮がなされたステージと常設の観覧席が設けられた、より繊細な生音による演奏を鑑賞できる専用ホールとして市内で初めての建設を目指す。 ⇒必須機能:反響板付ステージ、固定舞台照明装置、固定観覧席、音響工学に基づく壁面
施設の役割	子供たちの情操教育を支援する最上級のツール ◇市内の既存施設の弱点を補う、生音による演奏を鑑賞できる施設として新たな価値を創造 ◇設置後は幼児、小中高生が体育館等で実施していた演奏会や学習発表会のほか、日常的な練習拠点としての利用など新たな使い方を見込む ◇収益性を高めるため、広域施設として石狩市民のほか、近郊都市住民の利用も促進(料金と客席数の設定:優位性を発揮) ◇優れた音や作品を身近に感じ触れられる機会の創出
施設の想定	座席数は現在実施されている様々なイベントに対応できるようにするため現在の北コミの座席数(可動式座席+パイプ椅子)とほぼ同数の600席を想定。
施設の設置・運営	札幌市民ホール(カナモトホール)は天井を張らず、外壁と内壁を同素材にするなど、様々な材料のコストダウンを図りながら、民間とのリース契約により建設を実現したが、石狩市も同方式を参考として、コストの大幅な削減とランニングコストの低廉化が図られた施設を目指すべき。

表 石狩商工会議所からの要望

項目	要望の内容
要望施設	社会を構成する要素となる、経済、産業、文化、スポーツは、互いに影響しあい効果をもたらしており、今後は、更なるマチの発展を目指すため、これらをつなぐ強い横軸と経営力をもって、戦略としていくことが必要である。そのため、様々な知恵が融合した新たな価値を生み出す「交流と融合」の場としての「経済文化センター」を要望する。

現在、学校等の演奏会やコンサート、式典などは、花川北コミュニティセンターの「ホール・ステージ(定員 600 人)」を利用して実施している。

また、市内中学校、高等学校、大学(藤女子大学花川キャンパス)における部活動の状況を見ると、吹奏楽など音楽活動が 13 部、演劇が 2 部、その他(ダンスなどステージでの発表会が想定されるもの)が 3 部ある。

表 花川北コミュニティセンターでの 100 人以上での演奏会等利用状況

行事名	利用区分	利用日	利用人数
石狩翔陽高校 ピクニックコンサート	演奏会	2024 年 5 月 25 日	200
THE MUSIC(石狩市教育委員会)	オペラ・演劇	2024 年 6 月 12 日	530
市立樽川中学校 吹奏楽部演奏会	演奏会	2024 年 8 月 31 日	100
市内中学校 音楽発表会	合唱	2024 年 10 月 9 日	200
石狩市民吹奏楽団 演奏会	演奏会	2024 年 10 月 20 日	300
グランミックス ピアノ発表会	演奏会	2024 年 11 月 17 日	140
石狩市民文化祭 クリスマスコンサート 2024	演奏会	2024 年 12 月 15 日	335
令和 7 年石狩消防出初式	式典	2025 年 1 月 7 日	140
石狩市「はたちのつどい」(成人式)	式典	2025 年 1 月 12 日	335
ピアノエレクトーン発表会	演奏会	2025 年 3 月 30 日	130

資料:石狩市公共施設利用実績資料(2024 年度)

表 石狩市内の音楽・演劇等に関する部活動一覧(令和7年度現在)

学校名	部名	音楽	演劇	その他
花川中学校	吹奏楽部	●		
花川北中学校	吹奏楽	●		
花川南中学校	吹奏楽部	●		
樽川中学校	吹奏楽部	●		
	石狩太鼓部	●		
石狩南高校	吹奏楽	●		
	演劇		●	
石狩翔陽高校	石狩太鼓局	●		
	吹奏楽局	●		
	演劇部		●	
	軽音楽同好会	●		
	ダンス部			●
藤女子大学	合唱団	●		
	軽音楽部	●		
	箏曲部	●		
	マンドリンクラブ	●		
	ダンス 同好会			●
	YOSAKOI ソーランチーム			●

資料:各学校ホームページより整理

(2) その他施設整備に関する要望や庁内意見等

表 その他施設整備に関する主な要望や庁内意見等

施設等名称	市担当課	施設内容や検討課題等
屋内遊戯施設	子ども政策課	令和7年度の市議会において、子どもの屋内遊戯施設の整備検討について質問。
公民館	社会教育課	石狩市公民館(学び交流センター)は築40年以上経過し、老朽化・バリアフリー対応など多くの課題を抱えている。生涯学習を支える複合的かつ持続可能な社会教育施設(公民館)の整備検討が必要。
総合体育館	スポーツ健康課	公益財団法人石狩市スポーツ協会から、総合体育館整備に関する要望が挙げられており、議会でも整備について質問。
子ども家庭センター	子ども相談センター	妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関の設置。
公用車車庫	総務課	公用車車庫新設の整備を検討しているが、費用の面等から保留中
防災備蓄倉庫	総務課	防災備蓄倉庫新設の整備を検討しているが、費用の面等から保留中。 (費用の面等から保留)
市庁舎・りんくる間の連絡通路	総務課	市民、職員等の利便性向上のための連絡通路の整備。
交通ターミナル	企画課 交通担当	デマンド交通と路線バス、タクシー及び民間送迎バス等の交通結節点となるターミナル施設の整備。

第4章 他市町村のまちなかにおける公共施設の配置・集約及び利用状況の整理

4-1 公共施設設置状況の道内自治体比較

(1)文化ホール(劇場・音楽堂等)の設置状況

公益社団法人 全国公立文化施設協会の「劇場・音楽堂等の文化施設一覧^注」をもとに、道内自治体における文化ホールの設置状況を整理した。

道内 179 自治体のうち文化ホールがあるものは 87 自治体、無いものは石狩市を含め 92 自治体である。

人口が多い自治体ほど文化ホールが整備されている傾向があり、人口 10 万人以上の自治体では文化ホールが複数箇所整備されている。

また、人口3万人以上10万人未満の 13 自治体では、11 自治体には文化ホールがあり、それらのメインホール座席数は 600～1,300 席となっている。一方で石狩市と滝川市(令和 3 年度末にたきかわ文化ホールが閉館したが、新設及び改修の検討が進められている)には、現在文化ホールが無い状態である。(次頁の表参照のこと)

注：公立施設が対象。野外音楽堂は集計から除外した。

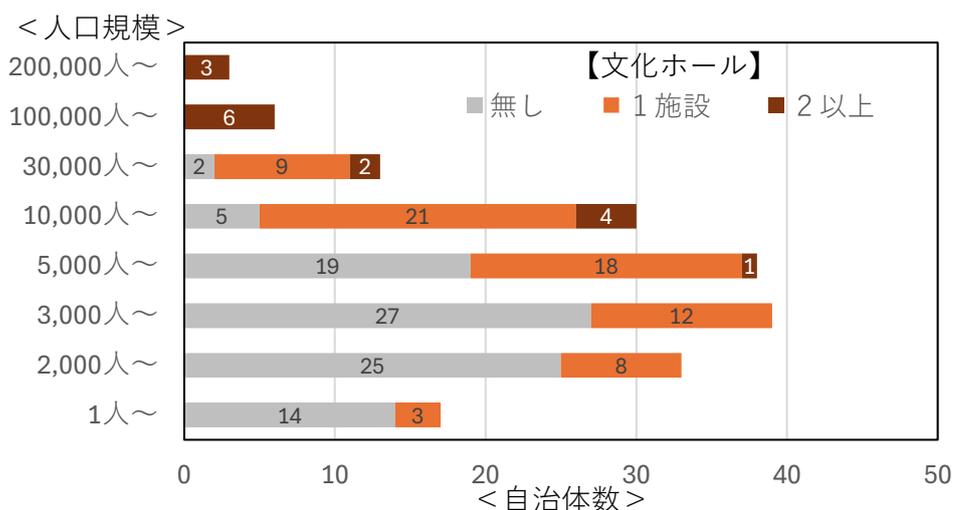


図 文化ホールの設置数別・人口規模別の道内自治体数

資料：(施設数)公益社団法人 全国公立文化施設協会

：(人口) 北海道総合政策部計画局統計課「住民基本台帳人口、令和 7 年 1 月 1 日現在」

表 人口 3 万人以上 10 万人未満自治体での文化ホール設置状況

自治体名	人口(人) (R7.1.1)	文化ホール名称	開館年	メインホール 座席数
千歳市	97,355	千歳市民文化センター	1984年	1,275
室蘭市	74,855	室蘭市文化センター(他1館)	1964年	1,307
岩見沢市	74,204	岩見沢市民会館・文化センター	2003年	1,183
恵庭市	70,446	恵庭市民会館	1979年	822
石狩市	57,143	—	—	—
北広島市	56,495	北広島市芸術文化ホール	1998年	597
登別市	43,615	登別市民会館	1983年	709
北斗市	42,810	北斗市総合文化センター	1997年	1,000
音更町	42,683	音更町文化センター	1986年	1,070
滝川市	36,515	— (注)	—	—
網走市	32,199	網走市民会館(他1館)	1968年	957
伊達市	31,208	だて歴史の杜 カルチャーセンター	1994年	1,044
稚内市	30,336	稚内総合文化センター	1984年	1,293

注：たきかわ文化センター(大ホール 1,101 席)は老朽化のため令和 3 年度末に閉館となった。

(2) 博物館の設置状況

総務省の「公共施設現況調査」をもとに、道内自治体における市町村立の博物館(博物館・美術館・科学館・歴史博物館)の整備状況を整理した。

道内 179 自治体のうち博物館があるものは 38 自治体、無いものは石狩市を含め 141 自治体である。

人口が多い自治体では博物館が整備されている傾向があり、人口 10 万人以上の自治体では博物館が整備されているが、人口 3 万人以上 10 万人未満の 13 自治体では、石狩市を含む 10 自治体で博物館が整備されていない。(注記：「いしかり砂丘の風資料館」は上記調査の博物館に含まれない)

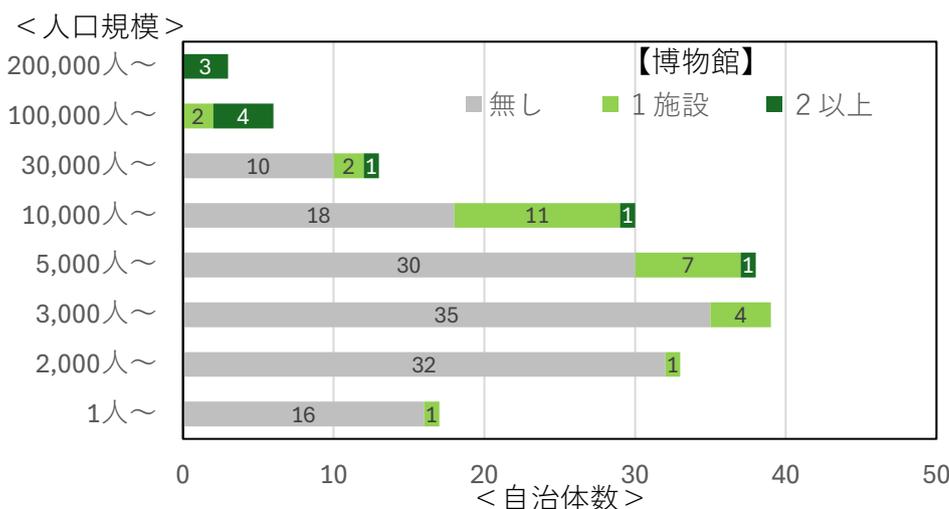


図 博物館の設置数別・人口規模別の道内自治体数

資料：(施設数)総務省「公共施設現況調査、令和 6 年 3 月末現在」

：(人口) 北海道総合政策部計画局統計課「住民基本台帳人口、令和 7 年 1 月 1 日現在」

(3) 体育館の設置状況

総務省の「公共施設現況調査」をもとに、道内自治体における市町村立の体育館(学校の付属施設は除く)の整備状況を整理した。

道内 179 自治体のうち、体育館があるものは石狩市を含め 165 自治体、無いものは 14 自治体である。

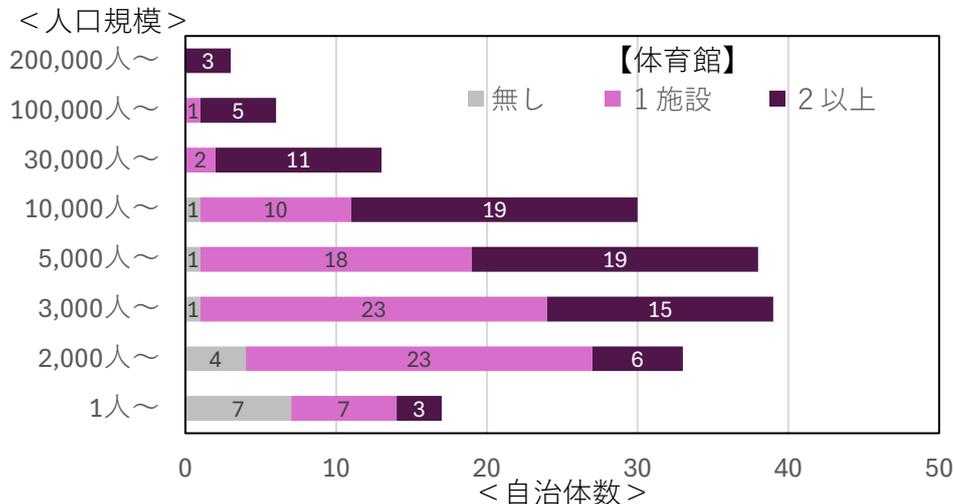


図 体育館の設置数別・人口規模別の道内自治体数

資料：(施設数)総務省「公共施設現況調査、令和 6 年 3 月末現在」

：(人口) 北海道総合政策部計画局統計課「住民基本台帳人口、令和 7 年 1 月 1 日現在」

(4) プールの設置状況

総務省の「公共施設現況調査」をもとに、道内自治体における市町村立のプール(学校の付属施設は除く)の整備状況を整理した。

道内 179 自治体のうち、プールがあるのは石狩市を含め 150 自治体、無いのは 29 自治体である。なお、人口1万人以上の自治体で唯一プールがない小樽市では、高島小学校の温水プールを通年で一般開放しているほか、新総合体育館と併せプール整備を計画している。

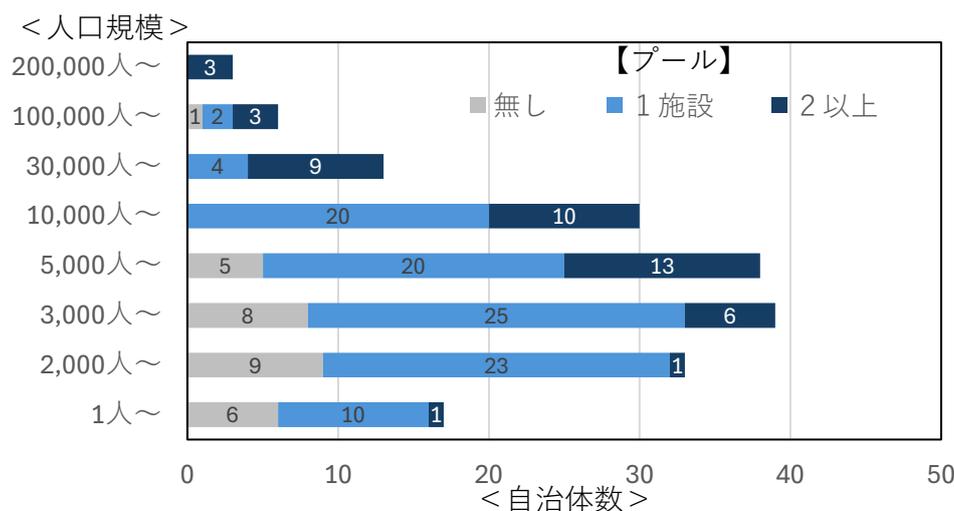


図 プールの設置数別・人口規模別の道内自治体数

資料：(施設数)総務省「公共施設現況調査、令和 6 年 3 月末現在」

：(人口) 北海道総合政策部計画局統計課「住民基本台帳人口、令和 7 年 1 月 1 日現在」

4-2 公共施設の集約配置状況の類似自治体比較

石狩市近隣の市である、北広島市、恵庭市、千歳市、小樽市、江別市および、石狩市と人口規模が近く、JR 駅のない音更町のまちなかにおける公共施設の配置・集約状況を整理した。各市町の公共施設の配置・集約状況は以下のとおりである。

表 比較対象市の人口と立地適正化計画等の策定状況

	人口(人) (R7.7 月末時点)	立地適正化計画等の 策定状況
北広島市	56,272	◎
恵庭市	70,252	○
千歳市	96,917	◎
小樽市	103,079	○
江別市	117,846	◎
音更町	42,471	○

◎：立地適正化計画策定済み、○：都市計画マスタープラン策定済み

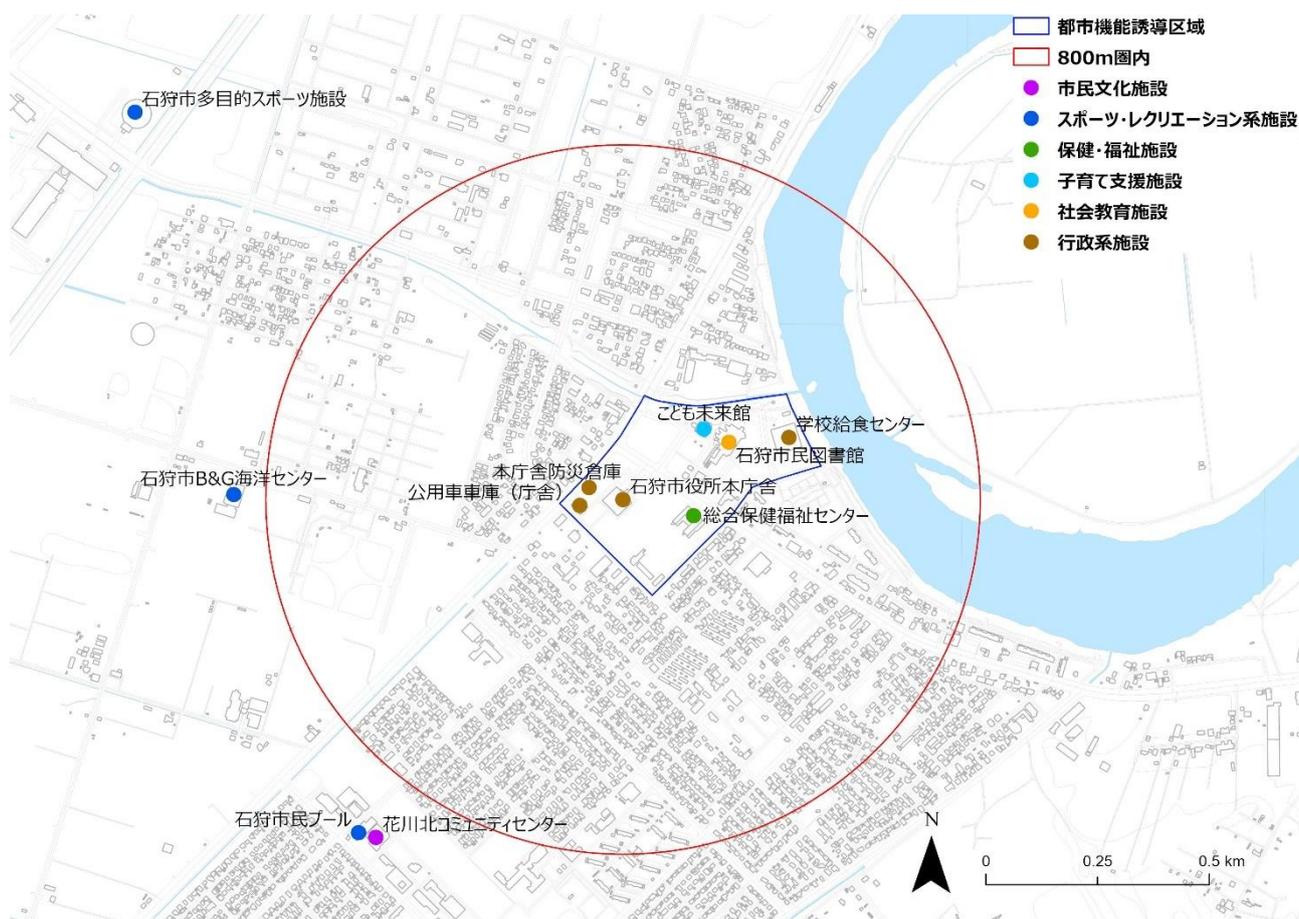


図 石狩市のまちなかにおける公共施設の配置状況

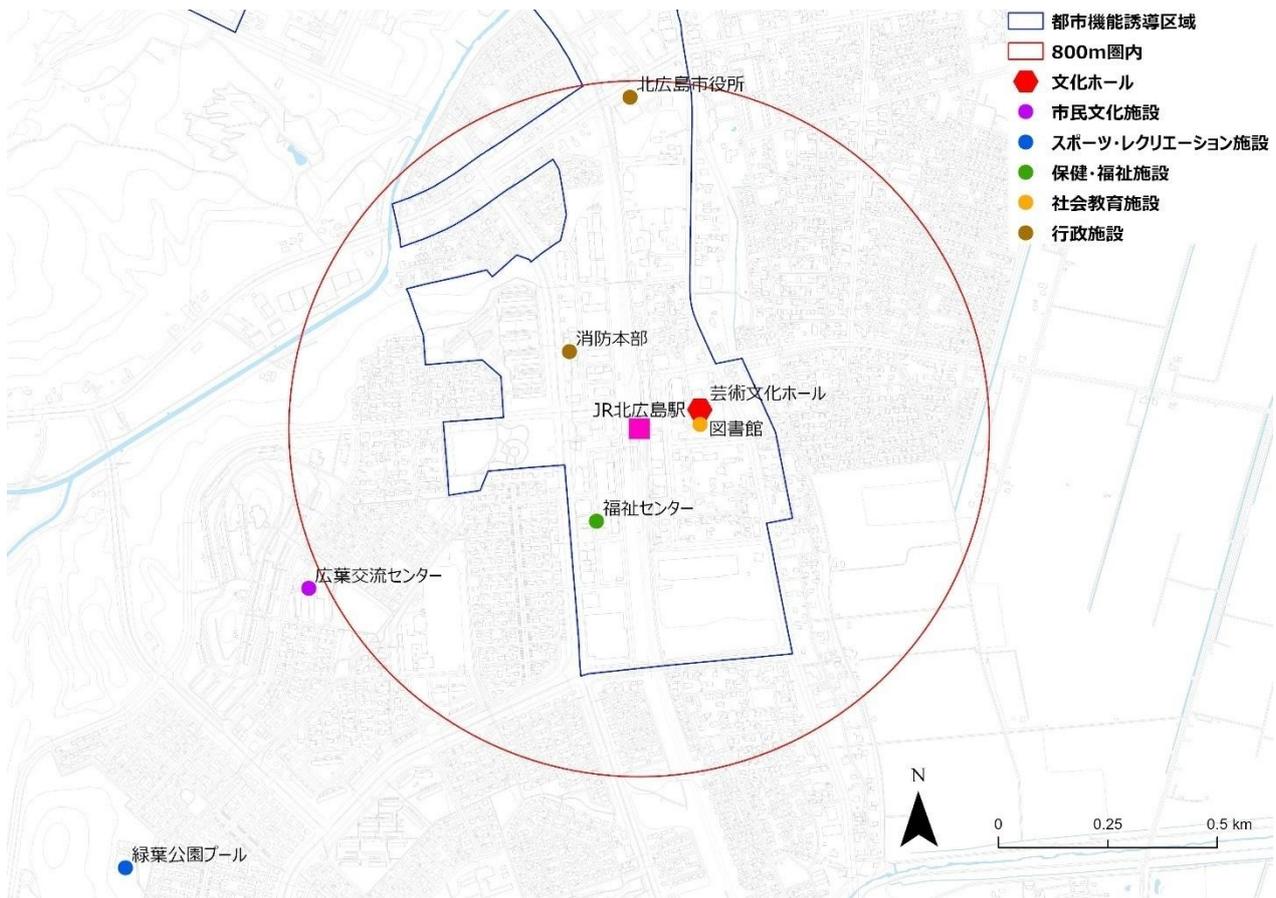


図 北広島市のまちなかにおける公共施設の配置状況

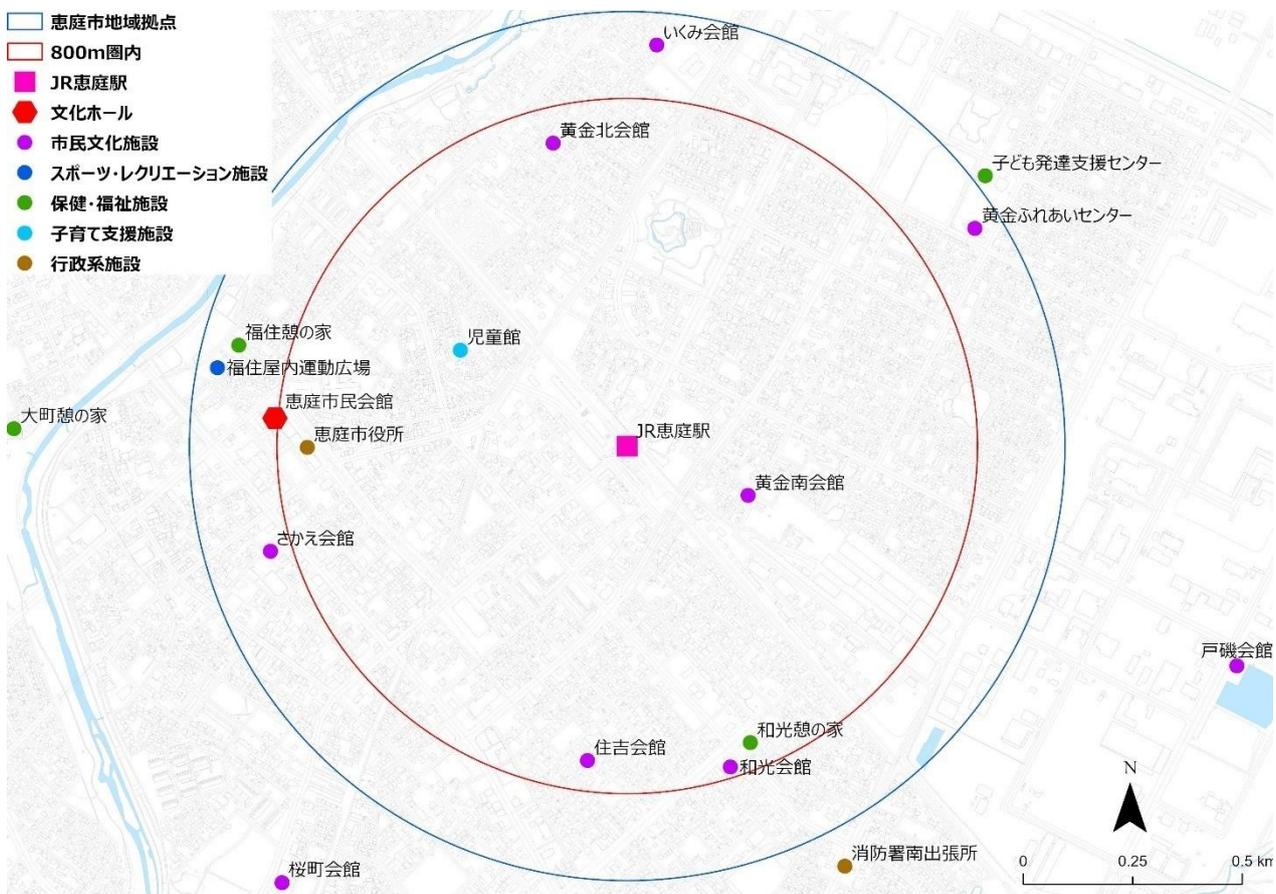


図 恵庭市におけるまちなかの公共施設の配置状況

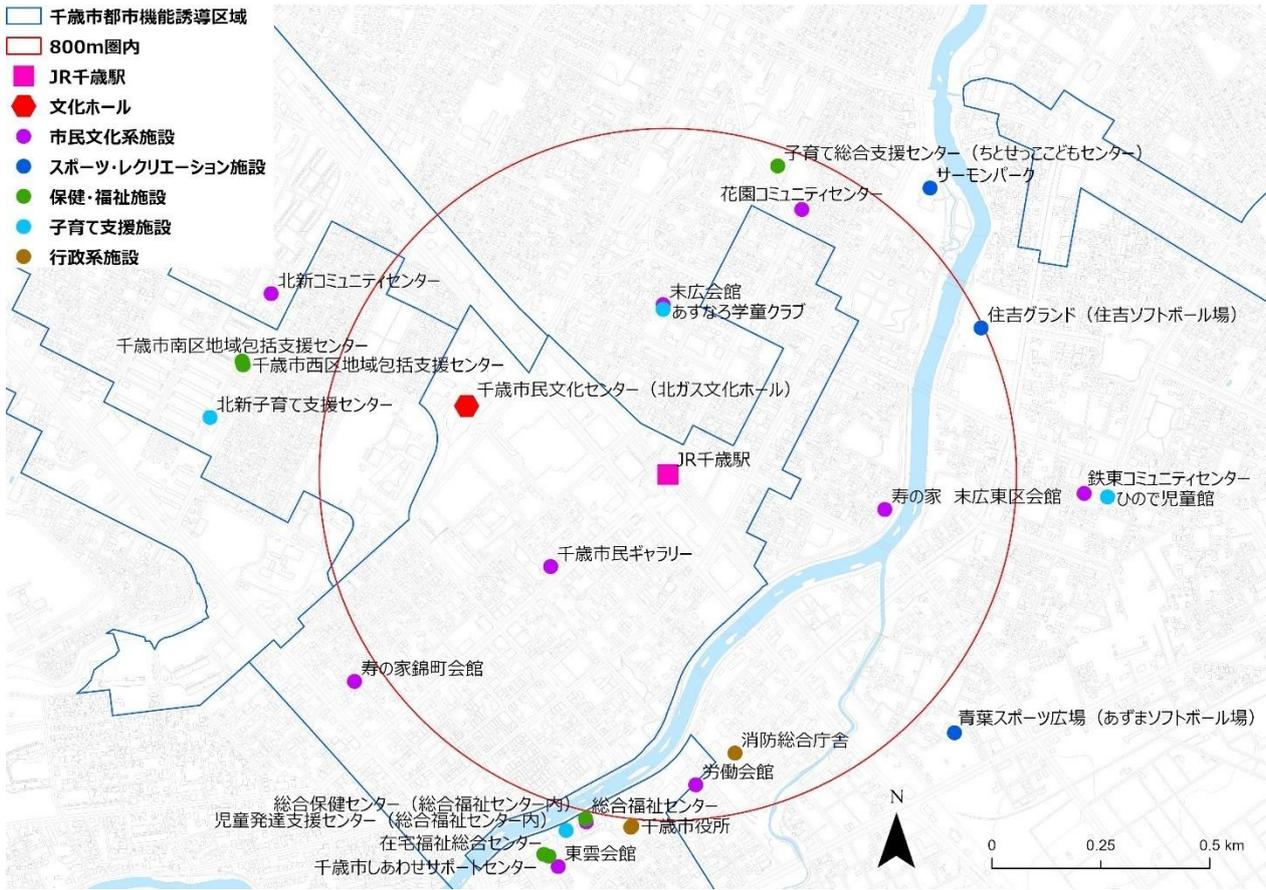


図 千歳市におけるまちなかの公共施設の配置状況

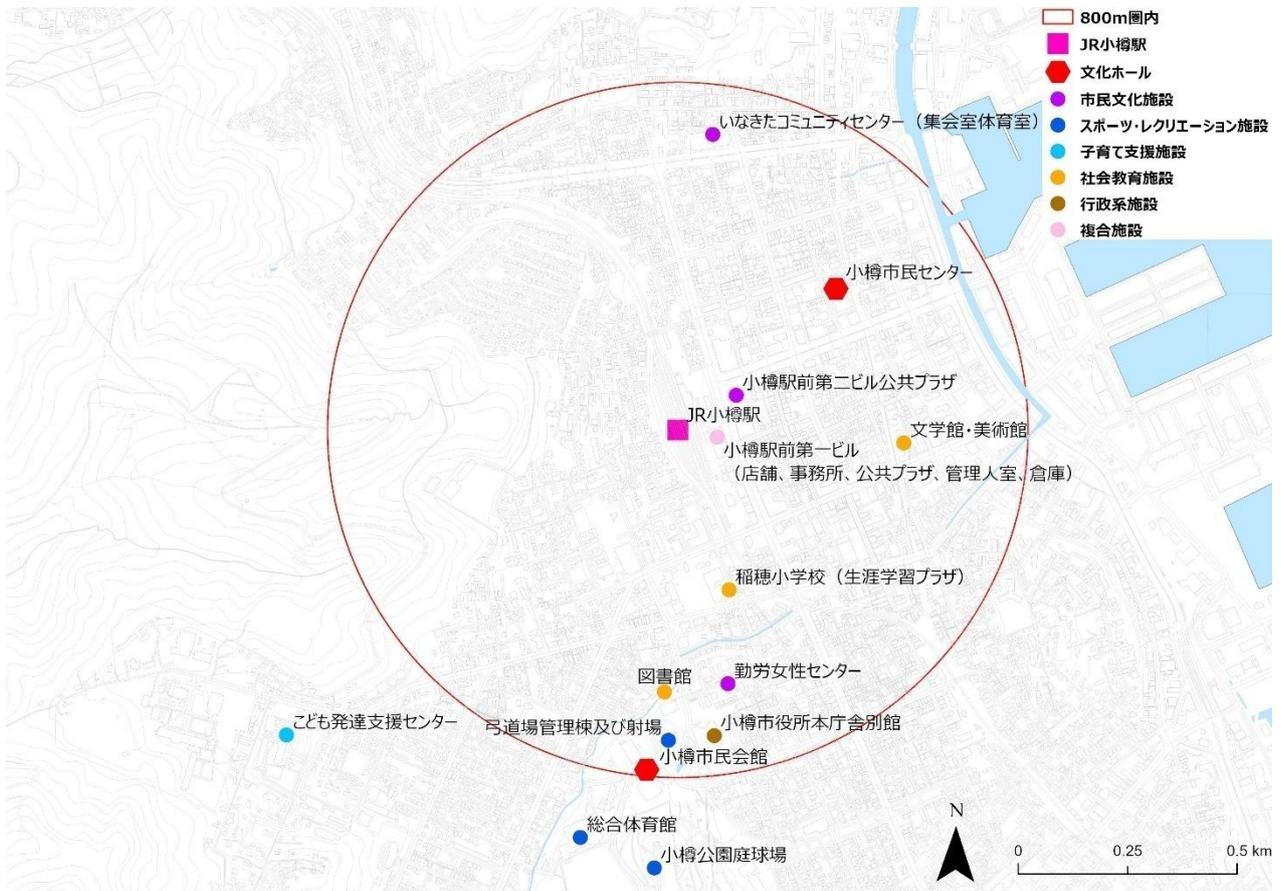


図 小樽市におけるまちなかの公共施設の配置状況

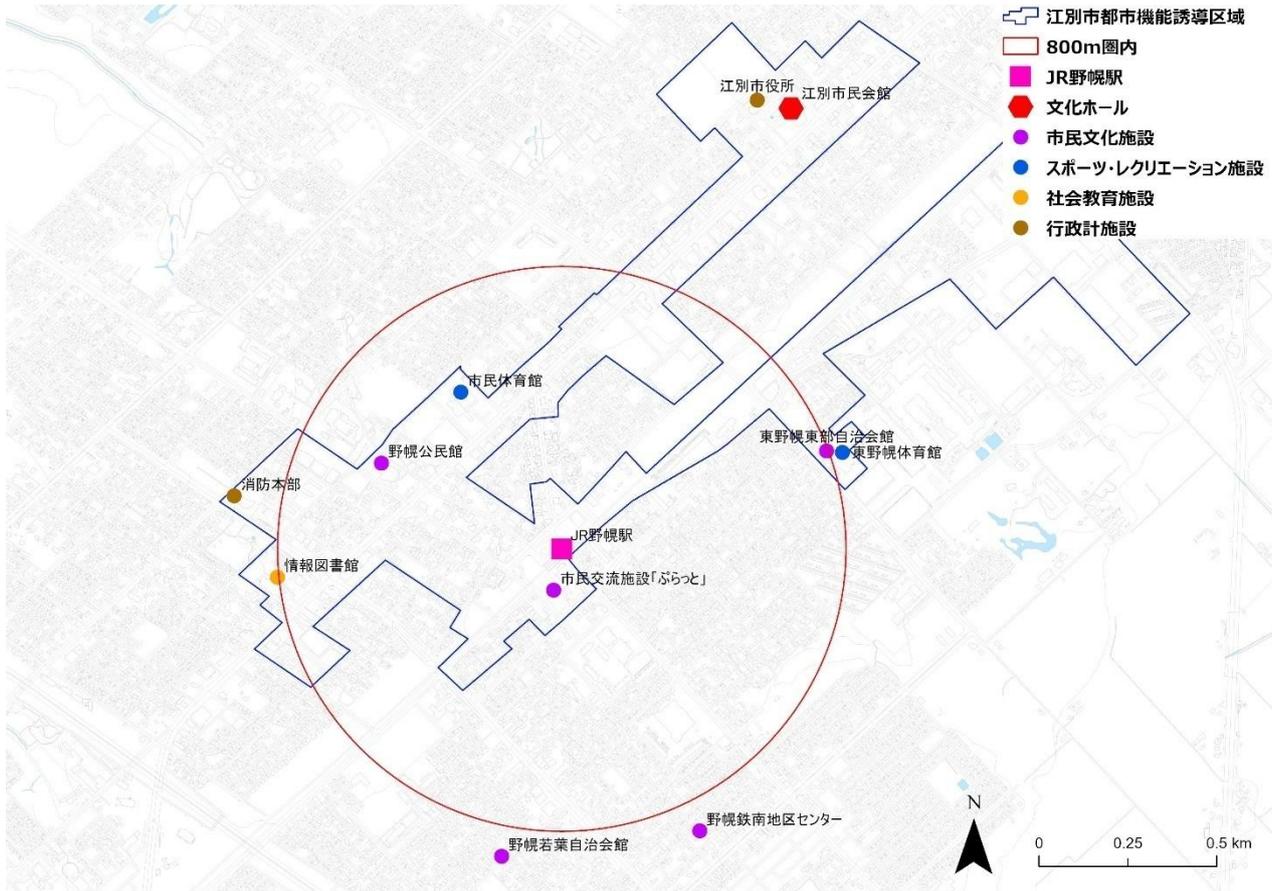


図 江別市におけるまちなかの公共施設の配置状況

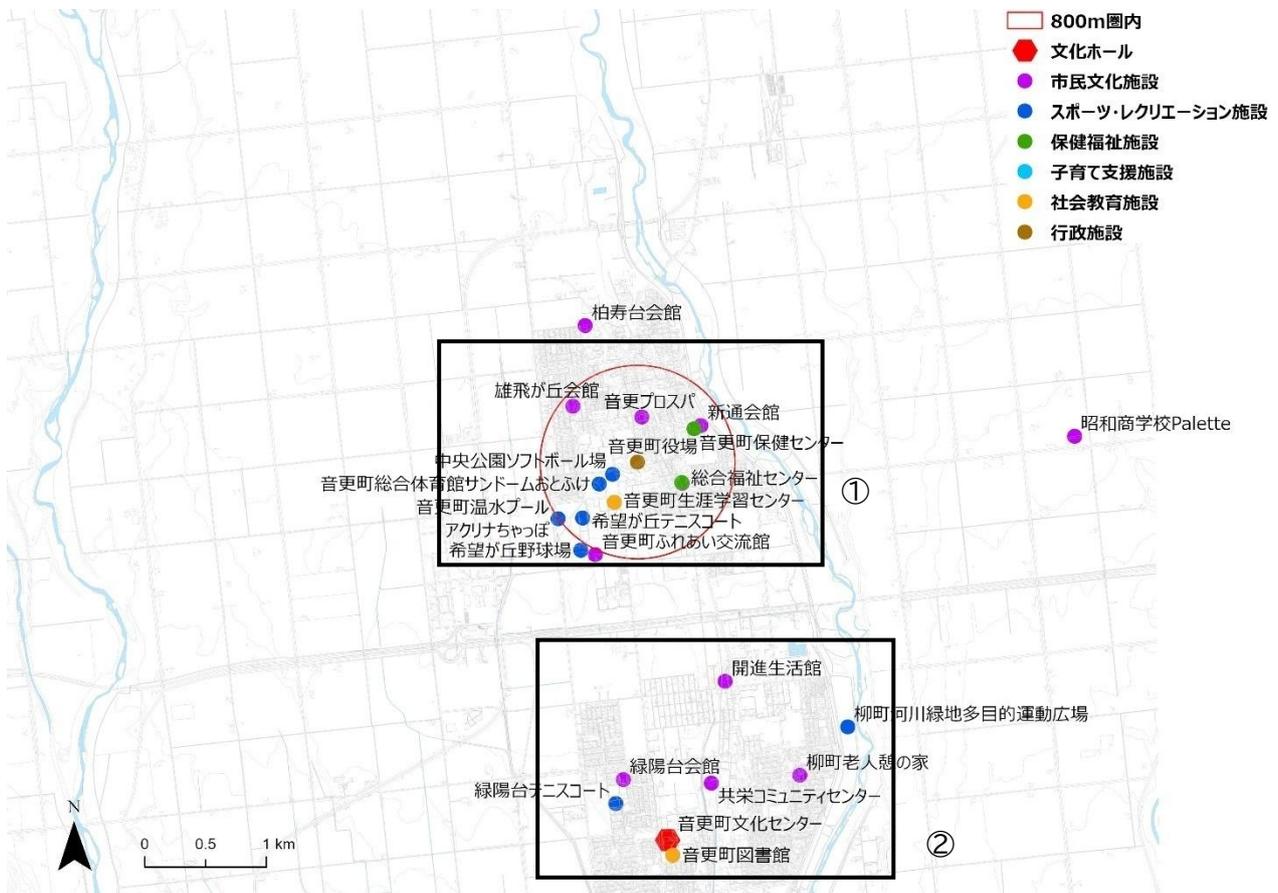


図 音更町におけるまちなかの公共施設の配置状況(広域)

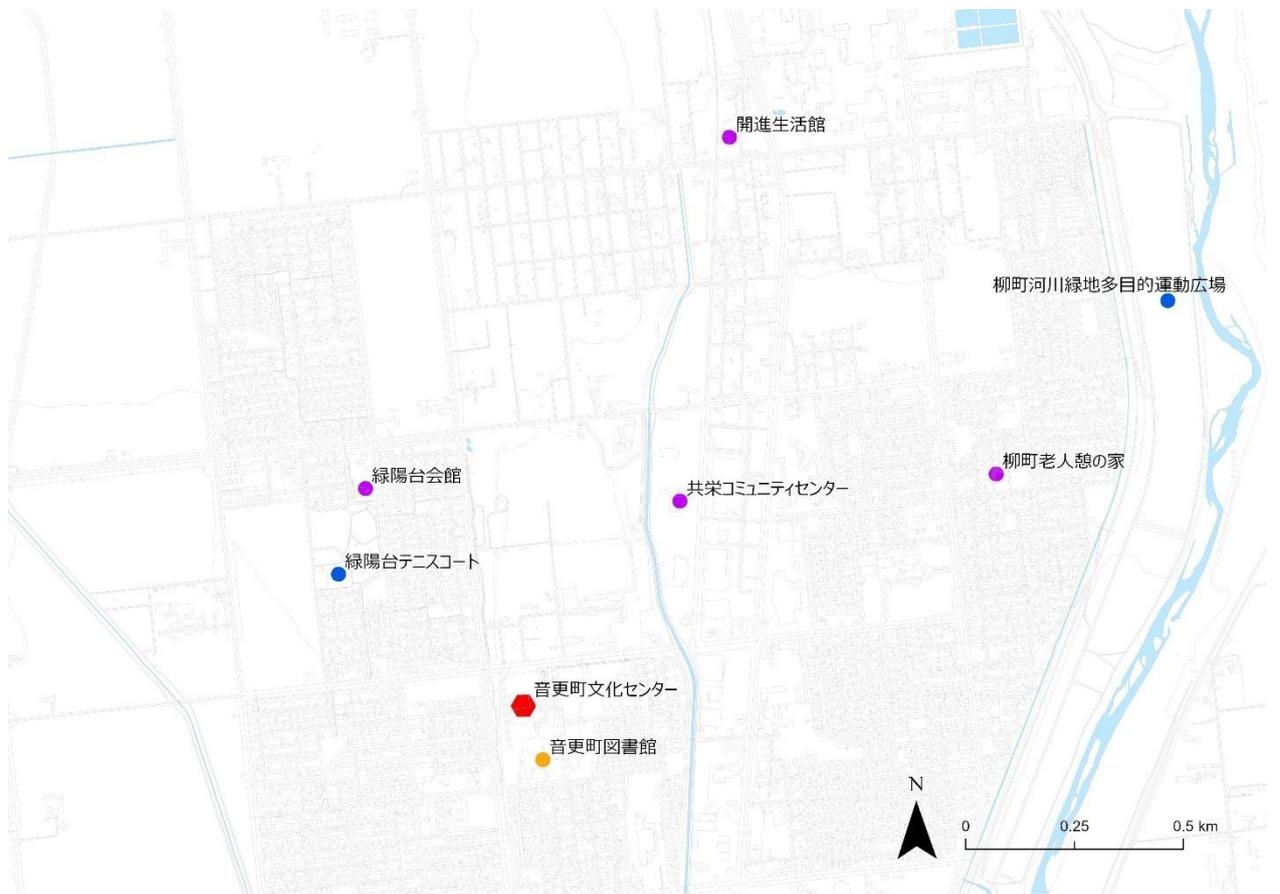
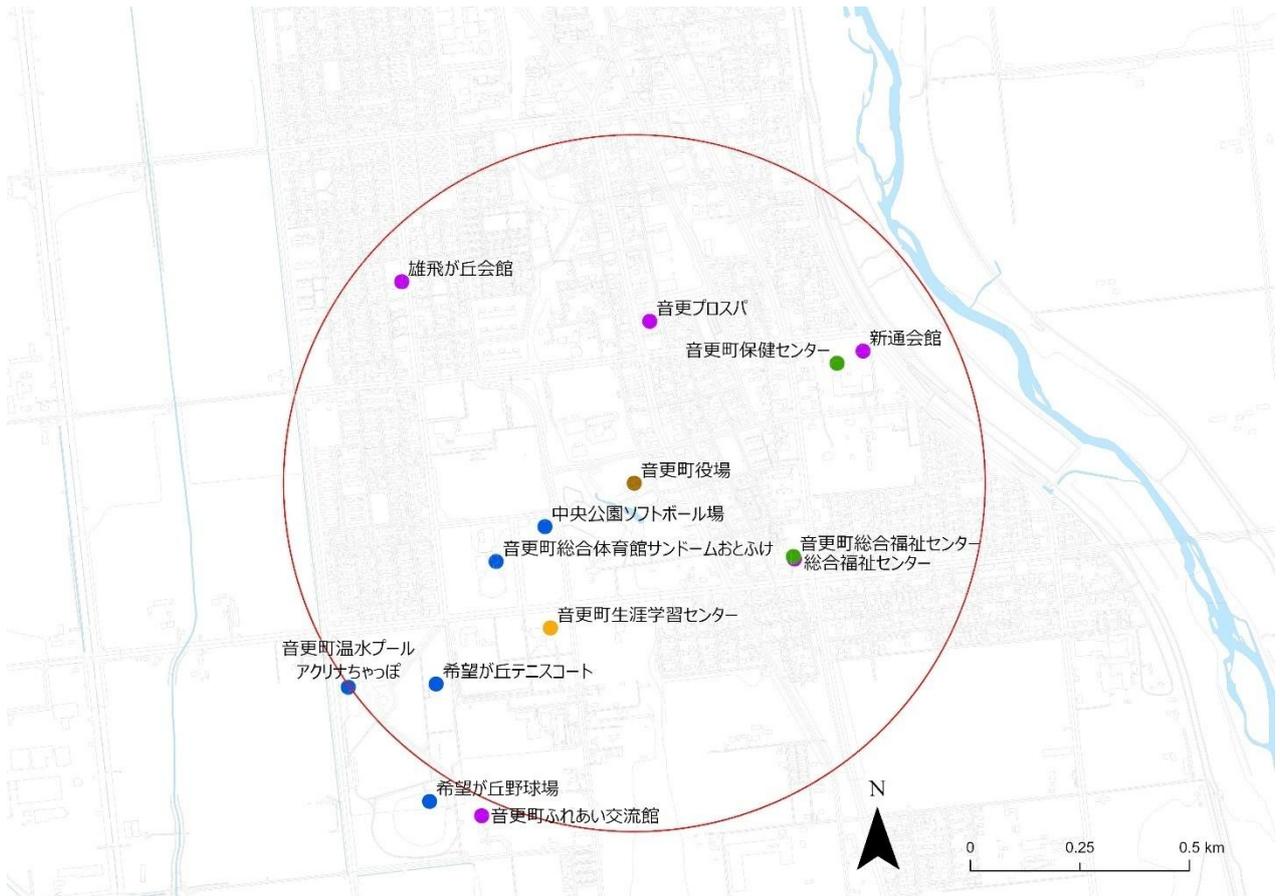


図 音更町におけるまちなかの公共施設の配置状況(拡大 上:①、下:②)

4-3 事例における公共施設の配置・集約状況

(1) 公共施設の集約事例

市民交流施設や庁舎等を集約し、にぎわいや市民活動の拠点を整備した事例には以下のようなものがあげられる。

①アオーレ長岡(新潟県)

旧施設の老朽化、中心市街地のにぎわい創出、交通弱者対策などの課題を背景に、市民・行政・議会が日常的に交流できるまちなか市役所を実現を目指し、中心市街地の活性化と市民協働の拠点として整備。

施設名称	アオーレ長岡
所在地	新潟県長岡市大手通1丁目4-10
人口	253,147人(2025年8月末時点)
開業年月日	2012年4月
延床面積	35,485㎡
主要施設	庁舎、議場、ナガドマ、アリーナ、市民交流ホール、ホワイエ、多目的室、市民共同センター、会議室など



▲中心市街地のにぎわい拠点および市民協働の拠点として整備。指定管理により地元のNPO法人が運営

■ナガドマ



▶最大約300席、音響重視の設計となっており、演劇やピアノ、カラオケ等、様々な市民活動で使用される。

◀施設中心のナガドマには椅子と机が設けられ、自由に過ごすことが可能。屋根がかかっており、悪天候時でもイベント等の開催が可能

■市民交流ホールA



出典：アオーレ長岡HP

◀自由に過ごすことができ、パブリックビューイング等も実施される

■ホワイエ

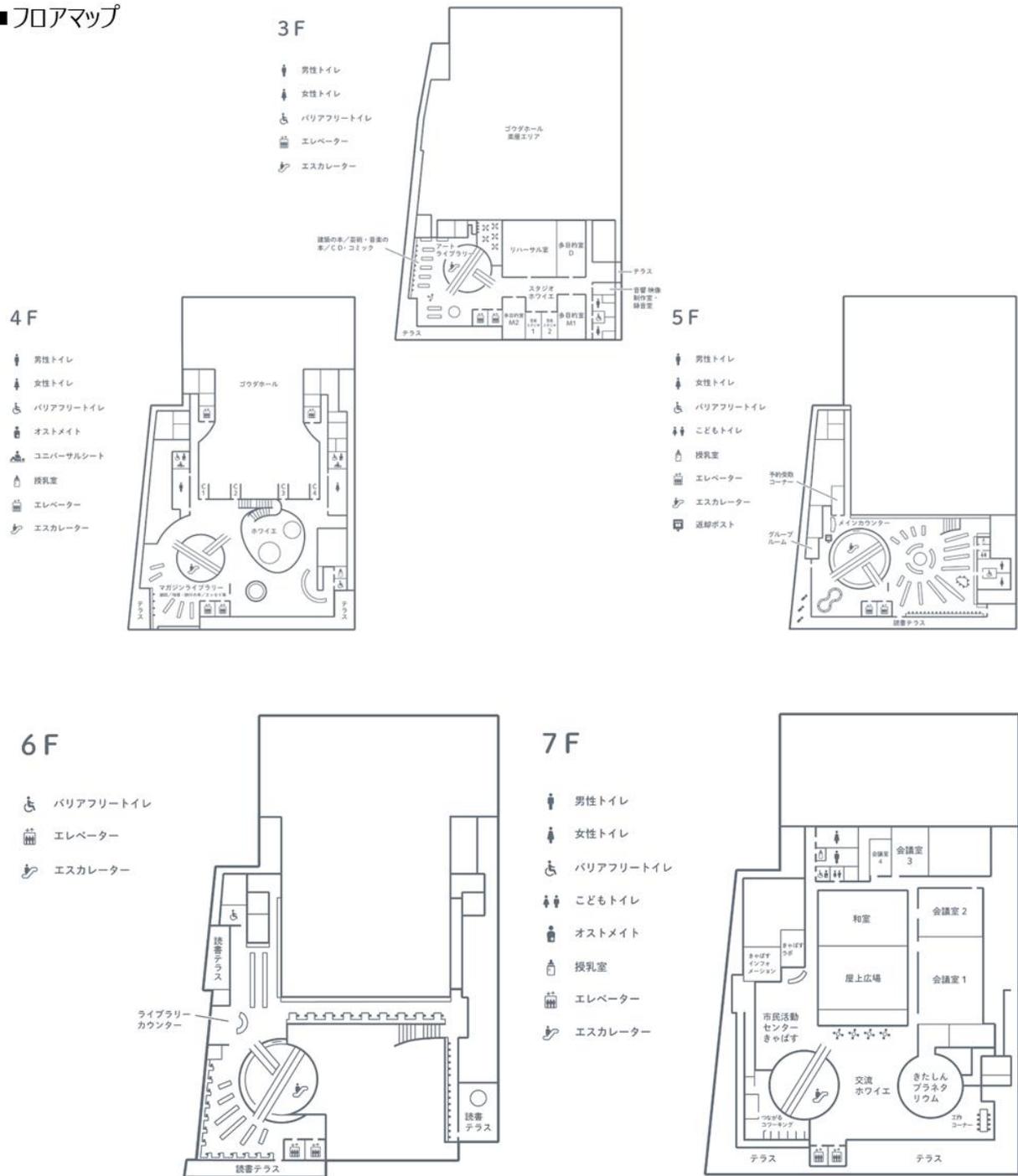


■フロアマップ



➡ 市庁舎と市民交流機能の中心市街地への集約による市民協働拠点の整備

■フロアマップ



写真出典：おにクルHP

文化芸術機能、子育て支援機能、社会教育機能等の多機能の集約による、多様な人が訪れ、ふれあう拠点の形成

③にぎわいの森(三重県)

新市庁舎整備にあわせ、庁舎横の放棄林を整備・活用し、官民連携でにぎわいの拠点を整備。地元の農家や民間企業などと連携し、地域資源を生かしたサービス・商品を提供。

施設名称	にぎわいの森
所在地	三重県いなべ市北勢町阿下喜ぶ3 1 番地
人口	41,829人 (2025年8月末時点)
開業年月日	2019年5月
敷地面積	約36,880㎡
主要施設	庁舎、民間施設(食料品店、飲食店、パン屋、食肉加工屋、セレクトショップ等)、オープンスペース、森林内散策路



出典：グリーンインフラ事例集(令和6年3月)

▲いなべ市が100%出資している一般社団法人グリーンクリエイティブいなべが運営。各店舗や市民と連携して運営を実施。

■行政棟



◀行政棟。市役所を訪れるついでににぎわいの森を散歩する市民も多い。

▶民間の店舗がテナントとして入り、にぎわい創出に寄与。

■散策路

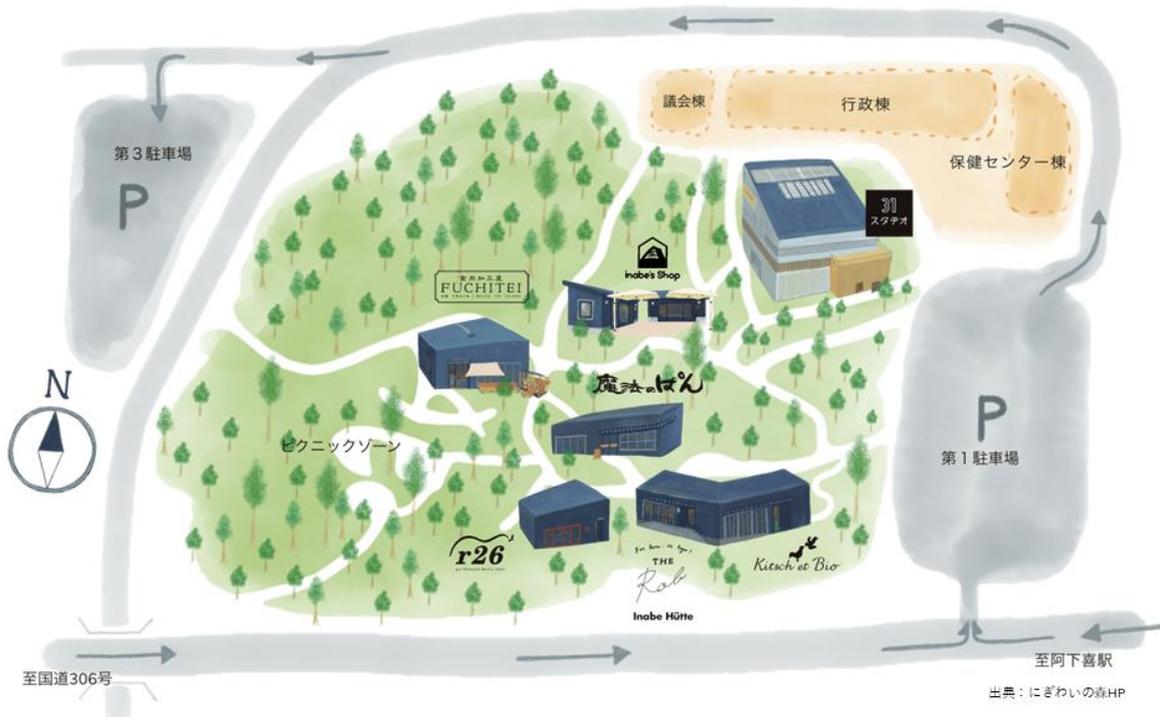


■民間商業施設



◀散策路内にはオープンスペースがあり、ゆったりと休憩することが可能。

■敷地図



出典：にぎわいの森HP

市庁舎整備と周辺環境を利用した官民連携によるにぎわい拠点の整備

④まちなかへの施設の集約と脱炭素化の推進（長野県小諸市）

市庁舎や病院の老朽化および中心市街地の活力低下を背景に、まちなかに、市庁舎や図書館等の公共施設、総合病院、商業施設を集約。エネルギーネットワークを構築し、脱炭素化を推進。

取組概要	まちなかへの施設の集約とエネルギーネットワークの構築による脱炭素化の推進
所在地	長野県小諸市
人口	41,068人（2025年9月末時点）
集約施設	市役所、こもろプラザ（図書館、市民交流センター）、こもろ医療センター（民間病院）、こもテラス（商業施設と公共施設の複合施設）



出典：都市行政におけるカーボンニュートラルに向けた取組事例集（第2版）

▲中心市街地に、市役所、こもろプラザ、こもろ医療センター、こもテラスを集約。集約した施設で電気と熱のエネルギーネットワークを構築し、面的エネルギー使用を実施。

■市役所およびこもろプラザ



出典：小諸市役所新庁舎パンフレット（小諸市HP）

▶JA長野厚生連が運営する総合病院。

■こもテラス



出典：URリンクージュHP

▶中心市街地の周遊性を高めるため、EV三輪カートやEVバスを運行。

◀市役所と、市立図書館および市民交流センターからなるこもろプラザを隣接。市民交流センターは、ホールと会議室からなる。

■こもろ医療センター



出典：JA長野厚生連HP

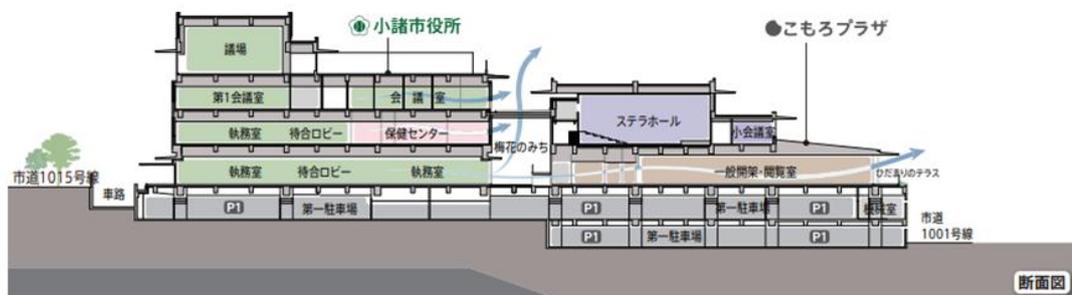
◀公共施設棟と民間のスーパーマーケットからなる複合型中心拠点誘導施設。公共施設は、交流スペース、保育施設、市民活動センター等からなる。

■EVEビリティ



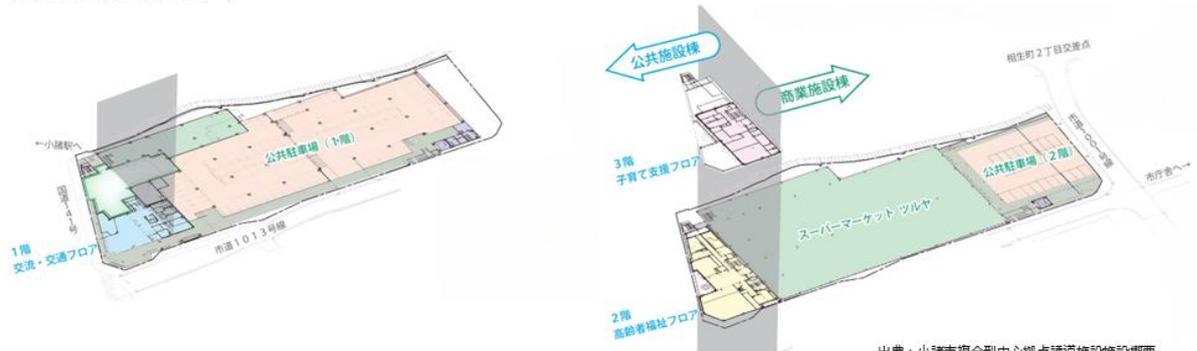
出典：都市行政におけるカーボンニュートラルに向けた取組事例集（第2版）

■市役所とこもろプラザ断面図



出典：小諸市役所新庁舎パンフレット（小諸市HP）

■こもテラス平面図



出典：小諸市複合型中心拠点誘導施設施設概要（小諸市HP）

民間施設も含めたまちなかへの集約による中心拠点の形成と脱炭素化の推進

(2) プール複合施設事例

プールと社会教育機能や交流機能を複合化して整備した事例には、以下のような事例があげられる。

① かみす防災アリーナ(茨城県)

防災公園である神栖中央公園の中核施設として整備された、スポーツ・文化・防災の拠点施設。平常時は、地域の健康増進・コミュニティの場として、災害時には一時避難所および中長期避難所として利用される。

施設名称	かみす防災アリーナ
所在地	茨城県神栖市木崎1219-7
人口	93,426人(2025年8月末時点)
開業年月日	2019年6月
延床面積	20,145.47㎡
主要施設	アリーナ(メイン・サブ)、プール、トレーニング室、スタジオ、温浴施設、音楽ホール、キッズルーム、会議室、カフェなど



出典：神栖市観光協会HP

▲PFI手法により、官民連携でスポーツ・文化・防災の拠点施設を整備。

■プール



◀25m x8コース、ジャグジー、幼児用プール、採暖室を整備。

■音楽ホール



▶約300席(固定席)の座席を備え、音楽活動や講演会、演劇等で使用される。

■キッズルーム



◀幼児を遊ばせることのできるスペース。授乳室が併設。

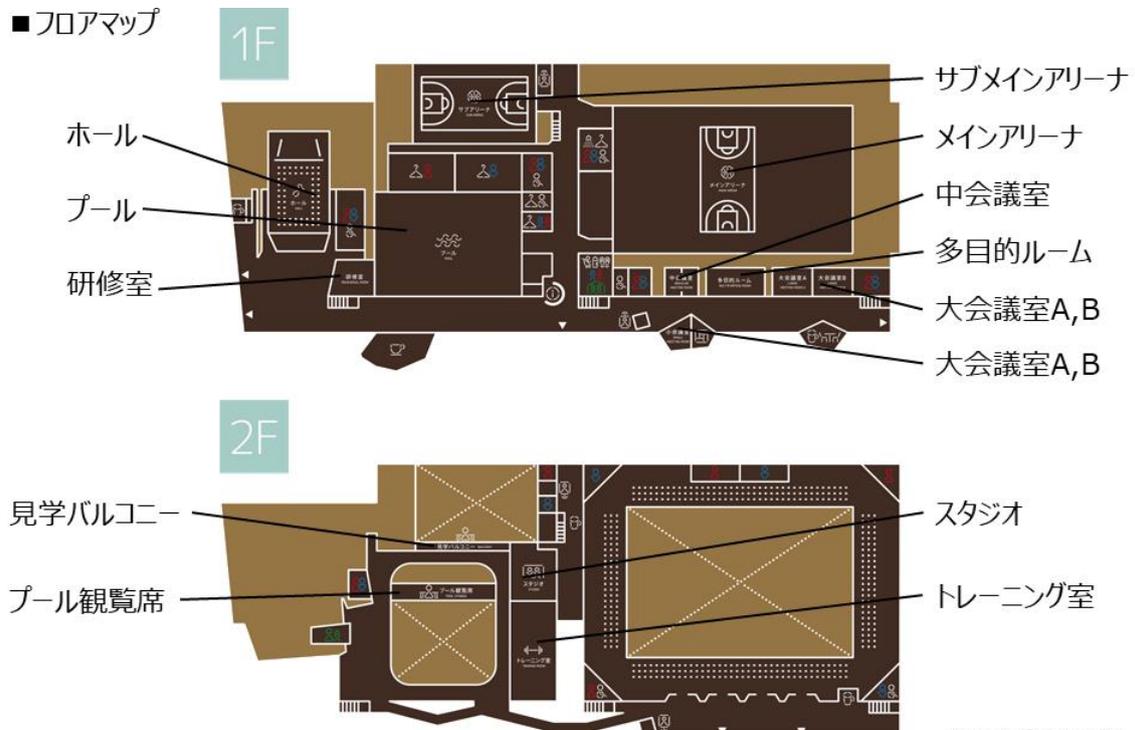
■スタジオ



▶約170㎡、鏡張りとなっており、ダンスの練習等での使用が可能。

写真出典：かみす防災アリーナHP

■フロアマップ



出典：かみす防災アリーナHP

➡ ホールやプール等の集約によるスポーツ・文化・防災拠点の整備

②飛島村すこやかセンター(愛知県)

プールや児童館、地域包括支援センター等を複合化し、子供からお年寄りまですべての人々がここに立ち寄り、憩い、談笑し、交流する場として整備。

施設名称	飛島村すこやかセンター
所在地	愛知県海部郡飛島村竹之郷3丁目1番地
人口	4,695人(2025年8月末時点)
開業年	1996年
延床面積	約6,600㎡
主要施設	温水プール、トレーニングルーム、保健センター、図書館、児童館、地域包括支援センター



▲保健センター、温水プール、トレーニングルーム、図書館、地域包括支援センター、児童館の6つの施設の複合施設として整備

■プール



▶飛島村の図書館が併設。勉強や閲覧、貸し出しが可能。

◀25mプール、流水プール、歩行用プール、児童用プール(水深0.5m)、幼児用プール(水深0.4m)、ウォータースライダー、ジャグジー、採暖室を整備。

■図書館



◀遊戯室、児童集会室、児童図書室、屋外広場からなる。村内在住の小学生・乳幼児とその保護者が利用可能。

■児童館



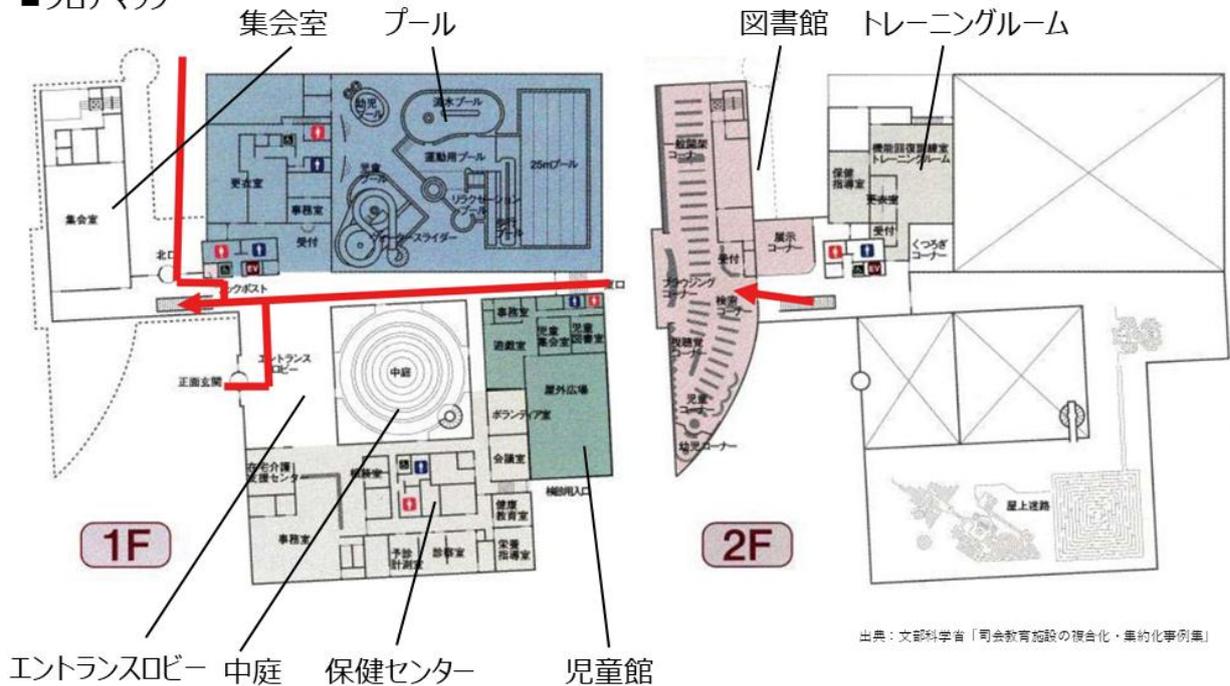
▶高齢者の生活を総合的に支えていく拠点として、介護予防ケアマネジメントや総合相談・支援等を実施。

■地域包括支援センター



写真出典：飛島村HP

■フロアマップ



出典：文部科学省「社会教育施設の複合化・集約化事例集」

各世代が利用する機能の集約による多世代の集いの拠点の整備

③長泉町健康づくりセンター

町全体で推進している健康づくりの一環として、長泉町健康公園内に整備されたスポーツ施設。施設内に長泉町健康増進課を併設。

施設名称	長泉町健康づくりセンター (ウェルピアながいずみ)
所在地	静岡県駿東郡長泉町納米里549
人口	43,515人 (2025年8月末時点)
開業年月日	2013年8月
延床面積	不明
主要施設	アリーナ、プール、トレーニング室、運動スタジオ、ミニ運動場、町役場 (健康増進課)、多目的室、調理室、広場



▲健康づくり推進の場として整備。ミズグループによる指定管理により運営されている。

■プール



◀25m x 6コース (水深110cm)、幼児用プール (水深35cm)、採暖室、ジャグジーを整備。

▶軽運動や会議での使用等が可能。

■多目的室



◀車イスの方や子どもでも利用可能な昇降式調理台を完備。

■調理室



写真出典：長泉町健康公園HP

➡ スポーツ機能を中心とした各機能の集約による健康づくりの拠点の整備

(3) 道内の公共施設の集約事例

市民交流施設や庁舎等を集約したにぎわいや市民活動の拠点を整備した道内の事例には以下のようなものがあげられる。

① 富良野文化会館

旧市庁舎および文化会館の老朽化に伴い、庁舎と文化会館の複合施設を整備。災害に強く、また市民が気軽に訪れて利用しやすく親しみやすい庁舎となっている。

施設名称	富良野市複合庁舎 (庁舎・文化会館複合施設)
所在地	富良野市弥生町1番1号
人口	19,353人(2025年8月末時点)
開業年	2022年10月
延床面積	約8,900㎡
主要施設	市役所、大ホール、楽屋、リハーサル室、会議室、ロビー、ホワイエ、子どもの遊び場



▲旧機能の老朽化に伴い、庁舎と文化会館の複合施設を整備。

■大ホール (サンエーホール)



▶作品の展示やロビーコンサート等、市民の交流活動が可能。

◀516席の固定席と音響反射板を備えた本格的な音楽ホール。コンサートや大人数での集会等に使用可能。

■ロビー (Fプラザ)



◀親子で遊んだり、保護者同氏が交流できる屋内の遊び場

■子どもの遊び場 (ハモキッズランド)



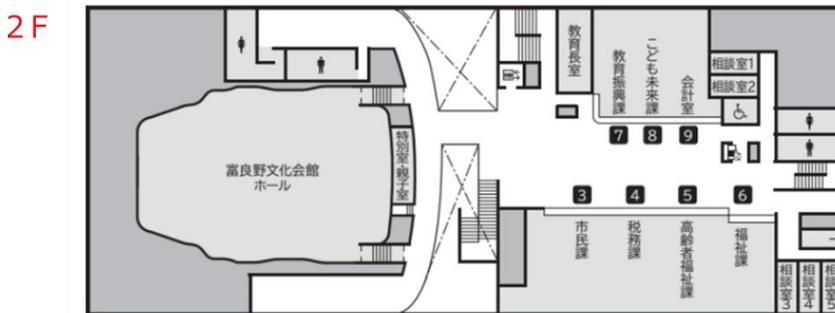
▶防音が完備されており、楽器練習やミニコンサート等で使用可能。また、鏡が設置されており、ダンスの練習等での使用も可能。

■リハーサル室



写真出典：富良野文化会館パンフレット (富良野市HP)

■フロアマップ



※ 3 Fは市役所、4 Fは議会および会議室

出典：富良野市HP

➡ 庁舎と文化機能の集約による市民が訪れやすい拠点の整備

②夕張市拠点複合施設りすた

「笑顔とにぎわいがこだまする街」の実現を目指し、公共交通結節点、行政窓口、図書館などの機能を集約した複合施設として整備。

施設名称	夕張市拠点複合施設りすた
所在地	北海道夕張市南清水沢4丁目48番地12
人口	5,924人（2025年8月末時点）
開業年月日	2020年3月
延床面積	1,700m ²
主要施設	ゆうぱりっこひろば・親子ラウンジ、りすた図書館、多目的室、多目的ホール、待合交流スペース、公共交通ロータリー、南支所、教育委員会事務局、キッチンスペース、学習室



▲多様な機能を集約し、様々な使い方ができる施設として整備

■待合交流スペース



▶文化活動や中規模の会議、子どもたちの遊び場などでの使用が可能。

◀気軽に休憩・おしゃべりや公共交通の待合として利用可能。

■多目的ホール



◀乳幼児・児童の遊び場や、健診・子育てサークルなどでの利用が可能

■ゆうぱりっこひろば・親子ラウンジ



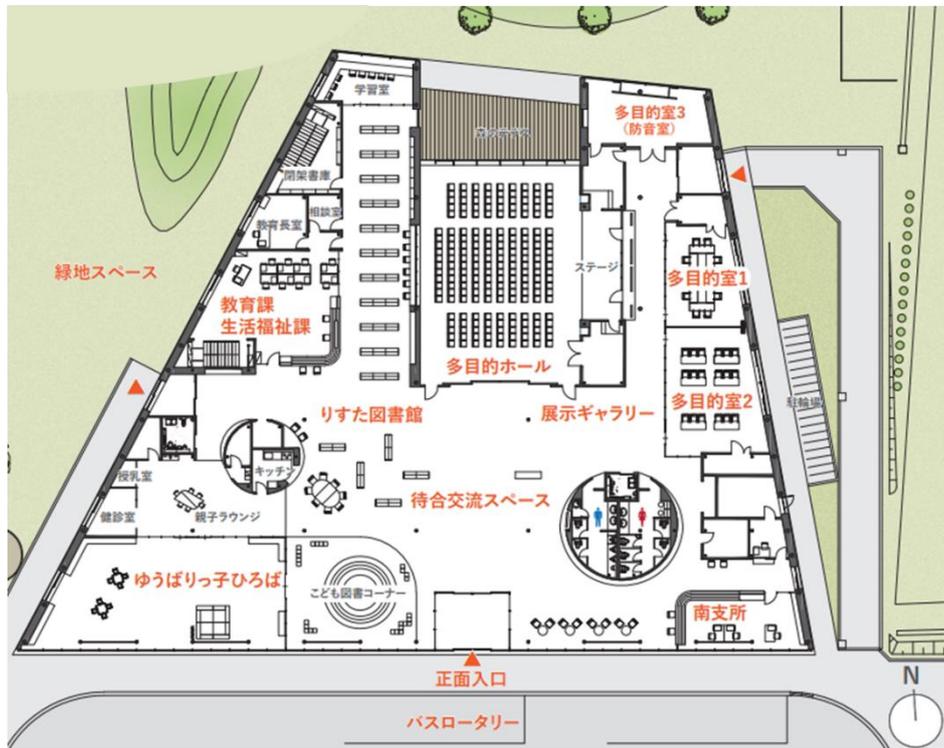
▶約13,000冊の蔵書をもち、閲覧や貸し出しが可能

■りすた図書館



写真出典：夕張市HP

■フロアマップ



出典：りすた紹介パンフレット（夕張市HP）



交流機能、子育て支援機能、社会教育機能等、多機能の集約によるにぎわい拠点の整備

③砂川市地域交流センターゆう

世代間の交流や芸術・文化活動などを通した、まちづくりの活動・発信拠点施設として整備。JR砂川駅とつなぐ自由通路が整備され、アクセス面にも優れた施設となっている。

施設名称	砂川市地域交流センターゆう
所在地	北海道砂川市東3条北2丁目3-3
人口	15,064人（2025年8月末時点）
開業年月日	2007年1月7日
延床面積	4,468㎡
主要施設	ホール（大小）、賑わいゾーン、研修室、食品工房、多目的工房、IT工房、交流談話室、児童プレイルーム、図書兼交流室、ミーティングルーム、幼児プレイルーム、屋外交流ゾーン、駅直結自由通路



▲市民の交流・活動拠点として整備。指定管理により地元のNPO法人が運営

写真：ゆうHP

■大ホール



写真：ゆうHP

▶自由に使える交流スペース。大ホールの待合・休憩スペースや展示のイベントスペースとしても利用可能。

■休憩スペースと屋外交流ゾーン



▶工作・工芸体験ができる多目的工房。工具などの設備も充実。

◀最大500席の大ホール。コンサートや演劇、講演会、イベント等で使用される。

■賑わいゾーン（交流スペース）



◀緑豊かなやすらぎの空間

■多目的工房



写真：ゆうHP



文化機能を中心とした集約による芸術・文化活動・まちづくり活動の拠点の整備

第5章 まちなかに整備が求められる機能の検討

5-1 本庁舎周辺エリアの目指す姿

(1) 目指す姿

本庁舎周辺エリアは、行政機能を中核とし、保健福祉・子育て支援・文化芸術・会議集会・スポーツ健康・商業ビジネスなど多様な都市機能を集約的に配置し、それらの機能を向上することで、人の出会いや交流を生み出し、総合計画で掲げている「市が目指すまちの姿(創造・絆・環境)」の実現に向けた中心的なエリアである。

機能集約と機能向上にあたっては、効率的な行政サービスの運営と市民参加のまちづくりを進める観点から、既存施設の有効活用と施設再編、民間活力の導入、計画・運営・活用における積極的な市民参加が求められる。

そこで、本庁舎周辺エリアの機能向上に向けて、以下の3点をポイントとして検討を行った。



◆検討にあたってのポイント

① 既存施設の機能向上・連携強化

本庁舎など既存施設について、個々の施設の機能向上を図るとともに、施設相互の連携を強化し、施設群としての機能を高める。

② 民間・市民の活躍の場づくり

市有地や公共施設を事業者や市民が積極的に活用できるようニーズに即した環境整備や運用改善を図る。

③ 機能を補完する「ふれあい拠点施設」の整備

本庁舎周辺エリアに必要とされる機能を補い、出会いや交流を生み出す場となる新たな市民交流施設「ふれあい拠点施設」の整備を図る。

(2)「ふれあい拠点施設」としての整備が求められる機能の検討結果

(1)の目指す姿に対し、本庁舎周辺エリアの市民交流施設の現状と利用ニーズ把握に基づき、機能向上検討内容を下表のとおり整理した。

表 本庁舎周辺エリアでの機能向上検討内容

機能	本庁舎周辺エリアでの機能向上検討内容
行政機能	「本庁舎」との連携強化と機能向上を検討する。 車庫や防災倉庫など、必要な付属施設の充実を検討する。 交通ターミナルについては、その設置場所も含めて引き続き検討する。
保健福祉機能	「総合保健福祉センターりんくる」との連携強化と機能向上を検討する。
子育て支援機能	「こども未来館あいぽーと」との連携強化と機能向上を検討する。
文化芸術機能	「石狩市民図書館」との連携強化と機能向上を検討する。 現在保有していない文化ホール機能については、市民のふれあいや交流を生み出す場として期待されることから整備を検討する。 公民館機能については、必要な機能を整理し、拠点施設との統合も含め検討する。
会議集会機能	「石狩市民プール」の2階多目的室の機能を代替しうる会議室等の設置を検討する。
スポーツ健康機能	「石狩市民プール」と「B&G プール」の更新統合に伴い、本庁舎周辺での「市営プール」の整備を引き続き検討する。 「総合体育館」は広大な敷地を必要とするため、本庁舎周辺での整備は想定しない。
商業ビジネス機能	エリア内市有地における民間活力の導入も含めた土地利用を検討する。

各機能のうち、行政・保健福祉・子育て支援機能については、既存施設との連携強化や機能向上を検討し、商業ビジネス機能については民間活力の導入も含めた土地利用を検討する。

また、スポーツ健康機能については、引き続き、市営プールの整備を検討することとしている。

文化芸術機能(文化ホール機能)については、市民のふれあいや交流を生み出す拠点として期待され、また、控室などの付帯諸室を、会議集会機能にも使用できる「会議室等」としての活用を検討することで、より効果的な整備が期待される。

よって、まちなか(本庁舎周辺エリア)における、新たな市民のふれあいや交流を生み出す「ふれあい拠点施設」として整備が求められる機能は「文化芸術機能(文化ホール機能)」であり、「文化ホール」を軸とした整備の検討を進めていくこととする。